消　防　年　報

2019 年版

(平成 31年・令和元年)

明石市消防局

2020 年(令和 2 年)刊行

ひと目でわかる私たちの消防

市　　勢

（2020 年 4 月 1 日現在）

面　　積	人　　口	人口密度	世 帯 数	消防予算（千円）
４９．４２㎢ 0.20 ㎢/職員１人 0.05 ㎢/団員１人	３０３，５８７人 1,281 人/職員１人 307 人/団員１人	６，１４３人／㎢	１３９，１０３世帯 581 世帯/職員１人 134 世帯/団員１人	２，７５６，０５４

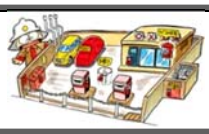
組 織 ・ 施 設

署　　所	消防職員数	消防団	消防水利
消 防 局　１ 消 防 署　１ 分　　署　６	２３７人	団員数　　９９０人 （８分団、５０班） 車両　４７台	消火栓　７，５８１基 防火水槽　　５５５基

消防車両（４８台）

消防ポンプ車	救助工作車	救　急　車	はしご車	化　学　車	その他の車両
１０台	２台	９台	２台	２台	２３台

予 防 ・ 防 災

		
防火対象物（延面積 150 ㎡以上）	危険物許可施設	防災・防火組織
７，０５８施設 【内訳】 特定対象物：１，８１９施設 非特定対象物：５，２３９施設	５８４施設 【内訳】 製造所：　９施設 貯蔵所：４０３施設 取扱所：１７２施設	自主防災組織　２８組織　１３９，５６０人 婦人防火クラブ　１１団体　３４６人

災害発生状況

（2019 年中）

119 番受付件数	出火件数	救急出動件数	救助出動件数	その他の災害出動	風水害出動件数
２２，０５４件	７３件	１６，２９９件	３９１件	１，２４５件	０件

目　次

1　明石市の概要 1
2　一般会計と消防費の比較 1
3　気象状況 2
4　気象情報発表状況 3
5　消防庁舎の配置と管轄 4
6　消防通信系統図 5
7　消防局の組織と事務分掌 6
8　消防署の組織と事務分掌 7
9　職員配置状況 8
10　職員階級別年齢構成 9
11　職員階級別勤続年数 9
12　職員研修状況 10
13　消防車両現有表 11
14　消防水利状況 12
15　火災警戒実施状況 13
16　介護予防教育 13
17　防火対象物状況と査察 14
18　危険物許可施設数の推移 15
19　危険物施設の状況と査察 15
20　予防関係事務処理状況 16
21　消防同意事務処理状況 17
22　防火管理講習会実施状況 18
23　危険物施設に係る申請状況 18
24　防災センター来館状況 19
25　訓練指導等の実施状況 19
26　市民救命士講習及び救急指導実施状況 20

災害統計

1　消防通信
⑴　１１９番通報受付状況 21
⑵　医療案内状況 22

2　市内地区別災害出動件数 23-27

3　火災出動
⑴　火災の状況 28
⑵　出火時間帯別火災の状況 29
⑶　死傷者の状況 30
⑷　初期消火の状況 30
⑸　年別火災発生状況 31
⑹　月別火災件数 31
⑺　出火原因別火災件数 32

4　救急出動
⑴　事故種別出動件数及び搬送人員 33
⑵　救急出動の推移 34
⑶　傷病程度別事故種別搬送人員 35
⑷　年別傷病程度別搬送人員の推移 35
⑸　年齢区分別事故種別搬送人員 36
⑹　年別年齢区分別搬送人員の割合 36
⑺　月別曜日別事故種別出動件数及び搬送人員 37
⑻　現場到着所要時間別出動件数 38
⑼　病院収容所要時間別搬送人員 38
⑽　救急隊員が行った応急処置件数 39
⑾　急病の疾病分類別搬送人員 40

5　救助出動
⑴　発生場所別救助件数 41
⑵　月別曜日別事故種別出動件数 42
⑶　救助件数の推移 43

6　その他の災害出動 44
7　風水害出動 44

消防団

1　消防団組織機構 45
2　消防団員階級別分団人員 46
3　消防団員階級別年齢構成 46
4　消防団員の表彰等受章状況 47
5　消防団機械器具配備状況 48

付録

明石消防の沿革..... 49-56

※この年報は、人事・予算関係は会計年度(4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで)、災害統計は暦年(1 月 1 日から 12 月 31 日まで)とし、その他は必要に応じて当該表の右上又は下に基準日等を表示しています。

（備考）

1. 表構成内容によりゼロ値の表記を「0」又は、空欄としています。
2. 「年中」とあるのは暦年を表しています。
3. 表中の▲は、減少を表しています。
4. 前年度実績が無い場合は、計算外として「-」を記載しています。
5. 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1　明石市の概要

明石市は、東経 135 度の日本標準時子午線上にあります。

また、瀬戸内海に面しており、明石海峡をはさんで淡路島を眼前に臨むことができます。気候は温暖で、古くは万葉歌人柿本人麻呂によって多くの歌が詠まれた風光明媚な地です。さらに、阪神都市圏と播磨臨海地域、そして海を隔てて淡路・四国と結ぶ位置にあり、海陸交通のうえで重要な拠点となっています。

市の東と北は神戸市と接し、西は加古川市、稲美町、播磨町と接しています。市の面積は 49.42 ㎢、周囲は 60.9km です。最長距離は、東西 15.6km（海岸線は 15.9km）、南北で 9.4km あり、東西に細長いまちを形成しています。

明石市では、「ひと　まち　ゆたかに育つ～未来安心都市・明石」の実現に向け、市民の皆さんと手を携え、取り組みを進めています。

2　一般会計と消防費の比較

区分 / 年度	人　口	世 帯 数	消防職員数	一般会計（千円）	消防費（千円）	比率	市民一人あたりの消防費（円）
2018	301,199	135,993	242	109,350,269	2,952,545	2.7%	9,803
2019	302,965	137,802	237	111,878,891	2,912,129	2.6%	9,612
2020	303,587	139,103	237	113,782,831	2,756,054	2.4%	9,078

※表中の金額は、すべて当初予算額に基づく数値から算出したものです。

※人口及び世帯数については、明石市住民基本台帳に基づく数値で、住民票作成対象者の外国人（中長期在留者、特別永住者等）を含みます。

３　気象状況

（2019 年中：明石市消防局観測値）

項目＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温	最高(℃)	12.1	13.7	19.1	24.9	31.7	31.4	34.1	36.9	34.9	30.2	22.3	17.1
	日	5日	20日	21日	22日	25日	29日	31日	13日	8日	1日	18日	2日
	最低(℃)	−1.2	−0.2	0.6	1.7	6.6	16.1	20.7	20.1	16.5	11.2	1.6	1.2
	日	1日	18日	9日	2日	8日	17日	8日	26日	20日	16日	29日	28日
平均風向		西北西	北	北	北	西南西	北	南東	西南西	北	北	北	北
平均風速(m/sec)		1.8	1.7	1.9	1.6	1.1	1.5	1.2	1.3	1.6	2.1	1.9	1.7
平均湿度(%)		64.0	66.2	64.2	63.7	60.7	71.7	79.3	74.7	71.3	74.2	67.0	69.8
降水量(mm)		14.0	34.5	63.0	82.5	69.0	127.0	171.0	134.0	32.5	142.0	4.0	45.5

年間平均気温	年間最高気温	年間最低気温	年間平均風向	年間平均風速	年間降水量
16.4(℃)	36.9(℃)	−1.2 (℃)	北	1.6 (m/sec)	919.5 (mm)
	8月13日	1月1日			

4　気象情報発表状況

(2019 年中)

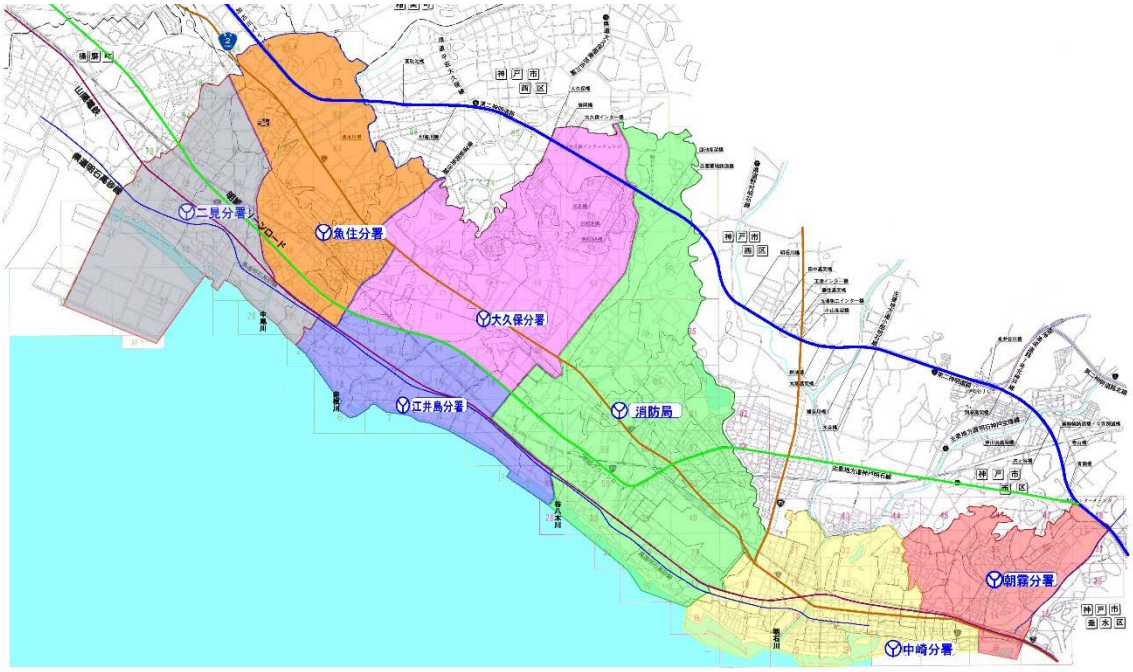
項目	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	暴風雪													0
	大雨						1			1				2
	洪水									1				1
	暴風								1	1	1			3
	大雪													0
	波浪								1	1	1			3
	高潮													0
	小計	0	0	0	0	0	1	0	2	4	2	0	0	9
注意報	大雨					1	6	7	6	2	4			26
	大雪													0
	風雪													0
	雷	1	1	11	5	8	10	14	12	8	6	3	3	82
	強風	1	4	7	10	6	5	9	7	3	7	4	4	67
	波浪	1	4	8	10	6	5	9	7	3	7	4	4	68
	洪水						3	2	3	2	1			11
	高潮						2	1	2		3			8
	濃霧	1	4	3	2			1	1		2	1	6	21
	乾燥	3	5	10	6	7	1			2	1	5	3	43
	なだれ													0
	低温													0
	霜			9	4									13
	暴風													0
	着雪(氷)													0
	小計	7	18	48	37	28	32	43	38	20	31	17	20	339
火災気象通報		5	2	14	2	4	2	2	4	2	8	28	8	81
津波警報・注意報						2								2
小計		5	2	14	2	6	2	2	4	2	8	28	8	83
合計		12	20	62	39	34	35	45	44	26	41	45	28	431

５　消防庁舎の配置と管轄

（2020 年 4 月 1 日現在）

	庁舎名	所在地	建築年月日	構造	敷地面積	延面積
①	朝霧分署	朝霧町 3 丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 5 月竣工 平成 10 年増改築	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建	623.85 ㎡	418.82 ㎡
②	中崎分署	中崎 1 丁目 6 番 20 号	昭和 47 年 6 月竣工	鉄筋コンクリート造 4 階建	1，551.49 ㎡	2，184.95 ㎡
③	消防局 消防署 防災センター	藤江 924 番地の 8	平成 15 年 2 月竣工	鉄筋コンクリート鉄骨造 4 階建	6，011.35 ㎡	5，465.72 ㎡
④	大久保分署	大久保町西脇 364 番地の 12	昭和 57 年 2 月竣工 平成 23 年 1 月増改築	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建	1，211.48 ㎡	604.75 ㎡
⑤	江井島分署	大久保町江井島 794 番地の 8	昭和 60 年 3 月竣工 平成 23 年 3 月増改築	鉄筋コンクリート造 2 階建	714.84 ㎡	335.60 ㎡
⑥	魚住分署	魚住町西岡 500 番地	昭和 44 年 4 月竣工 平成 12 年 11 月改修	鉄筋コンクリート造 2 階建	460.66 ㎡	301.37 ㎡
⑦	二見分署	二見町西二見 767 番地の 3	昭和 57 年 12 月竣工 平成 17 年 2 月増改築	鉄筋コンクリート造 2 階建	819.02 ㎡	536.77 ㎡

「消防庁舎の配置と管轄」



６　消防通信系統図

（2020 年 4 月 1 日現在）

7　消防局の組織と事務分掌

消　防　局

（主な事務分掌）

総務課

【総務係】
【消防団担当】
【企画広報係】
【施設装備係】

・文書の収受、発送
・職員の任免及び服務
・職員の任免、服務、教養計画及び福利厚生
・給与等の支給
・消防団に関する事務
・消防行政の基本施策及び総合計画
・広報及び広聴
・施設の整備計画及び維持管理
・消防財産の総括
・車両の登録、廃止、継続検査、定期検査及び修繕

警防課

【消防救助係】
【救急係】

・消防力の運用及び警防施策の総合的企画
・消防、救急及び救助活動（以下「警防活動」という。）技術の研究及び指導
・警防体制、警防活動及び警防業務に係る計画
・火災警報及び応急措置命令
・都市計画及び消防水利計画
・消防相互応援協定及び緊急消防援助隊
・消防車両及び装備の整備計画、配置、操作指導
・メディカルコントロール体制
・警防活動の事後検証
・警防活動統計
・応急手当の普及啓発

情報指令課

【指令第１係】
【指令第２係】

・災害発生通報の受信及び出動指令
・部隊の運用及び通信統制
・災害時の情報収集及び管理
・通信施設の整備、運用、維持管理
・職員の非常召集
・救急医療情報の収集及び気象情報の受理伝達

予防課

【査察指導係】
【違反是正担当】
【査察計画担当】
【防災センター
　兼自主防災担当】
【危険物係】

・火災予防広報及び指導
・建築確認及び建築許可の同意
・消防用設備等の設置指導及び規制
・防火対象物の査察及び違反処理
・防災センターに関する事務
・自主防災組織、自衛消防隊等の育成指導
・市民救命士講習
・危険物の指導及び規制
・危険物等の査察及び違反是正

８　消防署の組織と事務分掌

（主な事務分掌）

消　防　署

- （本　署）
  - 【管理係】
  - 【火災調査担当】
  - ・諸証明の発行
  - ・署員の服務及び教養
  - ・消防局及び各分署との連絡調整
  - ・火災調査の実施及び報告
- 【消防第１係】
- 【消防第２係】
- 朝霧分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】
- 中崎分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】
- 大久保分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】
- 江井島分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】
- 魚住分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】
- 二見分署
  - 【第１係】
  - 【第２係】

（消防第１係～二見分署）
- ・水火災の警戒、防除及び防御
- ・救急、救助活動
- ・地水利調査
- ・火災原因及び損害調査
- ・消防自動車及び機械器具の整備管理
- ・自主防災組織の訓練指導
- ・防火対象物の査察
- ・地域的消防事務の分担

９　職員配置状況

（2020 年 4 月 1 日現在）

所属＼階級		実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
総　　数		237	1	3	20	49	64	71	5	24	
消防局	局　　長	1	1								
	次　　長	1		1							
	総務課	20		1	2	5	2	4		6	
	警防課	7			3	1	2	1			
	情報指令課	17			3	2	7	5			
	予防課	11			3	4	1	3			
	小　　計	57	1	2	11	12	12	13	0	6	0
消防署	消防署	54		1	7	11	12	15	2	6	
	朝霧分署	20				4	6	7	1	2	
	中崎分署	36			2	8	10	12		4	
	大久保分署	20				4	8	7		1	
	江井島分署	10				2	2	6			
	魚住分署	20				4	7	5	1	3	
	二見分署	20				4	7	6	1	2	
	小　　計	180	0	1	9	37	52	58	5	18	0

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

１０　職員階級別年齢構成

（2020 年 4 月 1 日現在）

階／年齢	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	比率
総数	237	1	3	20	49	64	71	5	24		
20歳未満	2								2		0.8%
20歳以上～25歳未満	19								19		8.0%
25歳以上～30歳未満	24						17	4	3		10.1%
30歳以上～35歳未満	37						37				15.6%
35歳以上～40歳未満	37					23	13	1			15.6%
40歳以上～45歳未満	35				8	25	2				14.8%
45歳以上～50歳未満	38			3	21	12	2				16.0%
50歳以上～55歳未満	24		1	6	14	3					10.1%
55歳以上	21	1	2	11	6	1					8.9%
平均年齢	39.5	58.0	54.3	53.9	48.8	41.9	32.5	28.6	22.2		

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

１１　職員階級別勤続年数

（2020 年 4 月 1 日現在）

階／勤続年	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	比率
総数	237	1	3	20	49	64	71	5	24		
5年未満	21							4	17		8.9%
5年以上～10年未満	36						29		7		15.2%
10年以上～15年未満	47					8	38	1			19.8%
15年以上～20年未満	36				2	30	4				15.2%
20年以上～25年未満	19			2	9	8					8.0%
25年以上～30年未満	38		1		23	14					16.0%
30年以上～35年未満	11			5	5	1					4.6%
35年以上	29	1	2	13	10	3					12.2%
平均勤続年数	17.8	40.0	35.0	35.0	28.3	20.4	10.3	5.6	3.7		

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

１２　職員研修状況

（2019 年度）

研修先	科　目	期　間	対　象	人　員
消防大学校	総合教育　幹部科	50日間	消防司令	1
	専科教育　警防科	50日間	消防司令補	1
	実務講習会　緊急消防援助隊教育科 指揮隊長コース	11日間	消防司令長	1
	実務講習会　緊急消防援助隊教育科 NBCコース	23日間	消防司令補	1
	実務講習　女性活躍推進コース	9日間	消防士長	1
兵庫県消防学校	初任教育	6ヶ月間	新規採用者	3
	専科教育　特殊災害科	10日間	消防司令補	2
	専科教育　予防査察科	10日間	消防士長	2
	専科教育　火災調査科	10日間	消防司令補	2
	専科教育　救急科	38日間	消防士	3
	専科教育　救助科	22日間	消防士長	2
	幹部教育　初級幹部科	10日間	消防司令補	2
	特別教育　災害現場指揮科	3日間	消防司令	2
	特別教育　通信指令科	5日間	消防司令補	1
	山岳用救助器具取扱技術研修	3日間	消防士長	1
	惨事ストレス研修	2日間	消防司令長	2
神戸市消防学校	機械課程	4日間	消防士長	1
兵庫県 救急救命士養成所	救急救命士	7ヶ月間	消防士長	1
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡追加講習	2日間	消防司令補	4
		2日間	消防士長	1
救急救命 東京研修所	救急救命士	7ヶ月間	消防士長	1
安全運転 中央研修所	消防緊急運転技能者研修	4日間	消防士長	1

１３　消防車両現有表

（2020 年 4 月 1 日現在）

所属		車両番号	車両用途別	車体ﾒｰｶｰ	初度登録日
消防局	1	神戸302そ6609	連絡車	トヨタ	2010/4/30
	2	神戸531み1809	連絡車	日産	2018/9/21
	3	神戸483こ1811	連絡車	ホンダ	2018/11/22
	4	神戸332ね1803	連絡車	日産	2018/3/20
	5	神戸800す9896	警防指揮車	三菱	2006/6/23
	6	神戸480せ3583	連絡車	スズキ	2010/3/16
	7	神戸800そ1240	警防指揮車	日産	2006/7/29
	8	神戸800す3600	査察広報車	三菱	2003/9/12
	9	神戸800す9785	査察広報車	日産	2001/5/23
	10	神戸400ひ8631	応急手当普及啓発車	日産	2017/11/28
消防署	11	神戸800は3035	はしご車	日野	2014/11/20
	12	神戸800は2303	支援車	日野	2011/1/18
	13	神戸800は2305	化学車	日野	2011/1/20
	14	神戸830そ1903	救助工作車	日野	2019/3/8
	15	神戸800は2519	多目的災害コンテナ車	日野	2012/2/28
	16	神戸800は2107	水槽付消防ポンプ車	日野	2010/1/18
	17	神戸800は1712	水槽付消防ポンプ車	日野	2007/12/11
	18	神戸800す8770	指揮車	日産	2005/12/26
	19	神戸800せ1610	高規格救急車	トヨタ	2016/11/1
	20	神戸800せ7690	高規格救急車	日産	2011/1/31
	21	神戸800せ1338	緊急輸送車	日産	2007/1/29
	22	神戸800す8574	査察広報車	日産	2005/11/28
	23	1神戸　ゆ　3811	赤バイ	カワサキ	2001/3/22
	24	1神戸　ゆ　3812	赤バイ	カワサキ	2001/3/22
朝霧分署	25	神戸830す1711	消防ポンプ車	日野	2017/11/22
	26	神戸830そ1199	高規格救急車	トヨタ	2015/10/29
	27	神戸800す6955	緊急作業車	日産	2005/3/10
中崎分署	28	神戸800は　485	はしご車	日産	2001/10/15
	29	神戸800は2523	水槽付消防ポンプ車	日野	2012/3/6
	30	神戸800せ4766	消防ポンプ車	日野	2009/1/13
	31	神戸800す9118	消防ポンプ車	いすゞ	2006/2/28
	32	神戸830す1710	高規格救急車	トヨタ	2017/10/20
	33	神戸830　1173	高規格救急車	トヨタ	2013/2/21
	34	神戸800せ　337	緊急作業車	日産	2006/8/28
	35	神戸800は2468	救助工作車	日野	2011/12/13
大久保分署	36	神戸800は3456	水槽付消防ポンプ車	日野	2016/11/24
	37	神戸800す4207	水槽付消防ポンプ車	日野	2003/12/12
	38	神戸800す1622	高規格救急車	トヨタ	2013/11/14
	39	神戸800せ2234	緊急作業車	日産	2007/7/13
江井島分署	40	神戸800せ4767	消防ポンプ車	日野	2009/1/13
	41	神戸800す7638	緊急作業車	日産	2005/7/8
	42	神戸830さ1810	高規格救急車	トヨタ	2018/10/16
魚住分署	43	神戸800そ　617	消防ポンプ車	トヨタ	2013/2/26
	44	神戸830た1909	高規格救急車	トヨタ	2019/9/13
	45	神戸800す7637	緊急作業車	日産	2005/7/8
二見分署	46	神戸830て2003	化学車	日野	2020/3/2
	47	神戸800そ1623	高規格救急車	トヨタ	2013/11/14
	48	神戸800す6956	緊急作業車	日産	2005/3/10

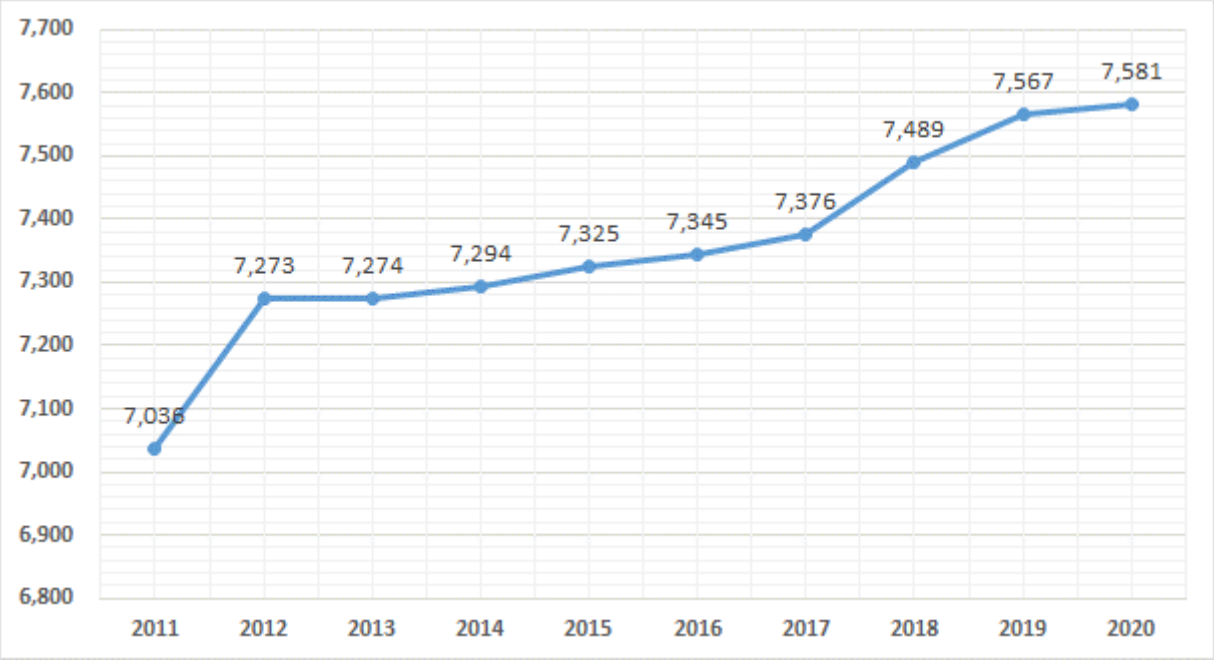
※　緊急車両　４０台　普通車両　８台

１４　消防水利状況

（各年４月１日時点）

種別	区分		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
消火栓	公設		7,202	7,233	7,346	7,415	7,436
	私設		143	143	143	152	145
	小計		7,345	7,376	7,489	7,567	7,581
防火水そう	公設	飲料水兼用100㎥	9	9	9	9	9
		100㎥以上	1	1	1	1	1
		60㎥以上100㎥未満	4	4	4	3	3
		40㎥以上60㎥未満	185	188	192	201	202
		20㎥以上40㎥未満	3	3	3	3	2
	私設	100㎥以上	5	6	6	15	15
		60㎥以上100㎥未満	10	10	10	23	23
		40㎥以上60㎥未満	263	270	284	294	291
		20㎥以上40㎥未満	1	1	1	9	9
	小計		481	492	510	558	555
合計			7,826	7,868	7,999	8,125	8,136

「消火栓設置数の推移」



１５　火災警戒実施状況

（2019 年度）

	回数	時間	人員	警戒地域	期間
年末特別消防巡ら警戒	151	116時間37分	486	市内全域	12月10日～12月31日
年始特別消防巡ら警戒	73	58時間56分	243	市内全域	1月1日～1月10日

１６　介護予防教育

（子どもと取組む介護予防プロジェクト）

予防救急の視点から、脳卒中と高齢者の骨折による要介護者を減少させるため、2014 年 9 月から、市内の小学校高学年を対象に介護予防教育の取組を進めています。

（2019 年度）

	学校名	実施日	学　年	組数	人　数	時　間
1	高丘西小学校	6 月 17 日	4　年　生	3	83	2時限
2	花 園 小 学 校	7 月 4 日	4　年　生	3	78	1時限
3	錦が丘小学校	9 月 11 日	4　年　生	2	58	2時限
4	二見北小学校	9 月 13 日	4　年　生	3	88	2時限
5	藤 江 小 学 校	10 月 3 日	4　年　生	3	101	2時限
6	江井島小学校	10 月 9 日	4　年　生	4	109	1時限
7	大 観 小 学 校	10月23日	4　年　生	2	40	2時限
8	貴 崎 小 学 校	11月13日	4　年　生	2	57	2時限
9	王 子 小 学 校	11月21日	4　年　生	2	48	2時限
10	中 崎 小 学 校	11月26日	4　年　生	2	61	2時限
11	山 手 小 学 校	11月27日	5　年　生	4	150	2時限
12	松が丘小学校	12 月 6 日	4　年　生	2	63	2時限
13	高丘東小学校	12月13日	4　年　生	2	41	2時限
14	清 水 小 学 校	2 月 8 日	4　年　生	3	102	1時限
15	錦 浦 小 学 校	2 月 17 日	4　年　生	4	124	2時限
16	魚 住 小 学 校	2 月 19 日	4　年　生	4	108	2時限
計					1,311人	29時限

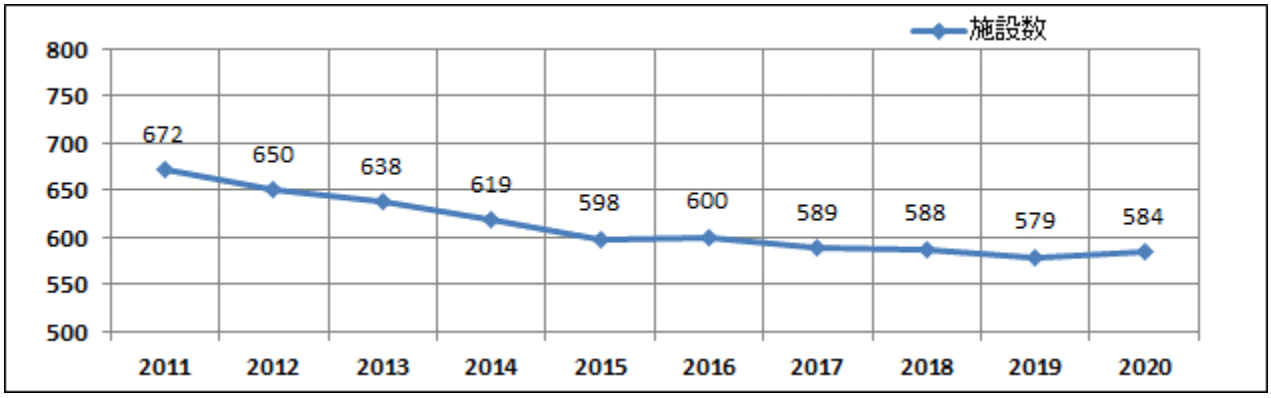
１７　防火対象物状況と査察

防火対象物数(延べ面積 150 ㎡以上)は 2020 年 4 月 1 日現在、査察実施数は 2019 年度

防火対象物	区分		防火対象物数	査察実施数
1項	イ	劇場等、映画館、演芸場又は観覧場	4	2
	ロ	公会堂又は集会場	138	22
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど		
	ロ	遊技場又はダンスホール	14	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など		
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど	1	
3項	イ	待合、料理店など		
	ロ	飲食店等	106	54
4項		百貨店などの物品販売店又は展示場	261	65
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所など	28	26
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2,503	221
6項	イ	病院、診療所又は助産院	113	62
	ロ	老人短期入所施設・障害児入所施設など	74	72
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	184	65
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	48	7
7項		小学校、中学校、高等学校など	211	17
8項		図書館、博物館、美術館など	2	2
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など		
	ロ	イ以外の公衆浴場	7	
10項		車両の停車場など	9	2
11項		神社、寺院、教会など	83	12
12項	イ	工場又は作業場	812	84
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	64	5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		
14項		倉庫	412	27
15項		前各項に該当しない事業場	808	125
16項	イ	特定用途に供する複合用途防火対象物	848	319
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	319	32
16の2項		地下街		
16の3項		準地下街		
17項		重要文化財	2	4
18項		延長50m以上のアーケード	7	
合計			7,058	1,227

１８　危険物許可施設数の推移

（各年４月１日時点）



１９　危険物施設の状況と査察

危険物施設数は 2020 年 4 月 1 日現在、査察実施数は 2019 年度

施設別			貯蔵・取扱い危険物・指定可燃物							施設数	査察数
			1類	2類	3類	4類	5類	6類	指定可燃物		
危険物許可施設	製造所					9				9	9
	貯蔵所	屋内貯蔵所		2		135	2			139	14
		屋外タンク貯蔵所				69				69	19
		屋内タンク貯蔵所				9				9	
		地下タンク貯蔵所				110				110	9
		簡易タンク貯蔵所									
		移動タンク貯蔵所				44				44	39
		屋外貯蔵所				32				32	14
	取扱所	給油取扱所				54				54	2
		販売取扱所				3				3	
		一般取扱所				115				115	14
	計			2		580	2			584	120
少量危険物・指定可燃物施設			1	3		476		1	94	575	21
合計			1	5	0	1,056	2	1	94	1,159	141

類別	性質	代表的な物資
第１類	酸化性固体	塩素酸ナトリウム、硫酸カリウム、硝酸アンモニウム
第２類	可燃性固体	赤リン、硫黄、鉄粉、固形アルコール、ラッカーパテ
第３類	自然発火性物質及び禁水性物質	ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄リン
第４類	引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油、アセトン、メタノール
第５類	自己反応性物質	ニトログリセリン、トリニトロトルエン、ヒドロキシルアミン
第６類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸

２０　予防関係事務処理状況

(1) 防火対象物関係

(2019 年度)

申請届出の種類	処理件数	申請届出の種類	処理件数
建築同意	277	喫煙承認申請	
防火管理者選解任届出	586	裸火使用承認申請	10
消防計画作成（変更）届出	618	危険物品持込み承認申請	49
防災管理者選任（解任）届出	27	変・発・蓄電設備設置届出	64
防災管理消防計画作成（変更）届出	28	ネオン管設備設置届出	
統括防火管理者選任（解任）届出	12	炉設置届出	4
全体の消防計画作成（変更）届出（防火）	13	厨房設備届出	5
統括防災管理者選任（解任）届出	1	温風暖房機設置届出	
全体の消防計画作成（変更）届出（防災）	1	ボイラー設置届出	8
管理権原者変更届出	4	給湯湯沸設備届出	9
防火管理者の証交付申請	5	乾燥設備設置届出	5
消防用設備等着工届出	286	サウナ設備届出	
消防用設備等工事届出	238	ヒートポンプ冷暖房機設置届出	11
消防用設備等設置届出	825	火花を生ずる設備設置届出	
消防用設備等点検結果届出	2,187	放電加工機設置届出	
防火対象物使用開始届出	536	百貨店等の避難通路設置変更届出	7
防火対象物点検報告特例認定申請	7	催物開催届出	28
防災管理点検報告特例申請	4	消防用設備業届出	13
防火対象物定期点検結果報告書	166	基準の特例適用申請書	20
防災対象物定期点検結果報告書	8	指定洞道等届出	
表示マーク交付（更新）申請	1	放電加工機	
自衛消防組織設置（変更）届出	8	露店等の開設届出	69
消防設備等検査済証交付	47	火災予防上必要な業務に関する計画	7
消防法令適合通知交付申請書	1		
		合計	6,195

(2) 危険物関係

(2019 年度)

申請届出の種類	処理件数	申請届出の種類	処理件数
危険物製造所等設置（変更）許可申請	219	危険物製造所等災害発生届出	4
危険物製造所等仮使用承認申請	196	危険物取扱者届	
危険物製造所等完成検査申請	203	危険物製造所等再開届	1
予防規程制定（変更）認可申請	13	危険物製造所等休止届	1
危険物仮貯蔵仮取扱承認申請	13	危険物製造所等譲渡引渡届	1
危険物製造所等完成検査前検査申請	62	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱（変更）届出	72
危険物製造所等軽微変更届出	337	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱廃止届出	17
危険物製造所等火気使用工事届出	163	液化石油ガス・圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届出	26
危険物保安監督者選任解任届出	78	液化石油ガス・圧縮アセチレンガス貯蔵取扱廃止届出	2
工事整備対象設備等着工（設置）届出	33	毒物・劇物貯蔵取扱届出	
危険物製造所等品名、数量又は指定数量の倍数変更届出	12	毒物・劇物貯蔵取扱廃止届出	
危険物製造所等廃止届出	8	合計	1,461

21 消防同意事務処理状況

(2019 年度)

用途		区分	新築	増築	改築移築等	合計
1項	イ	劇場等、映画館、演芸場又は観覧場				0
	ロ	公会堂又は集会場	2	1		3
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど				0
	ロ	遊技場又はダンスホール				0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など				0
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど				0
3項	イ	待合、料理店など				0
	ロ	飲食店等	4			4
4項		百貨店などの物品販売店又は展示場	6	1		7
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所など	1			1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	52	3		55
6項	イ	病院、診療所又は助産院	6	2		8
	ロ	老人短期入所施設・障害児入所施設など	4			4
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	10	1		11
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		1		1
7項		小学校、中学校、高等学校など		2	1	3
8項		図書館、博物館、美術館など				0
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など				0
	ロ	イ以外の公衆浴場				0
10項		車両の停車場など				0
11項		神社、寺院、教会など				0
12項	イ	工場又は作業場	6	14	1	21
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				0
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	2	3		5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
14項		倉庫	7	8		15
15項		前各項に該当しない事業場	29	9		38
16項	イ	特定用途に供する複合用途防火対象物	11	2		13
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1			1
16の2項		地下街				0
16の3項		準地下街				0
17項		重要文化財				0
18項		延長50m以上のアーケード				0
専用住宅等			87			87
建築設備等						0
合計			228	47	2	277

２２　防火管理講習会実施状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
乙種防火管理講習 修了者数	14	15	24	17	17

２３　危険物施設に係る申請状況

（2019 年度）

施設区分 / 区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所		
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
設置許可		7		1			1		3				2
変更許可		212	4	2	12		7		5	1	13		168
仮使用承認		196	4	2	8		7			1	13		161
完成検査	設置	6		1	1				2				2
	変更	197	4	2	15		7		4	1	13		151
合計		618	12	8	36	0	22	0	14	3	39	0	484

予防規程認可（制定・変更）	13
仮貯蔵仮取扱承認	13
完成検査前検査	62
合計	88

２４　防災センター来館状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
4月	704	885	1,050	1,552	1,774
5月	1,120	1,259	1,944	1,695	1,767
6月	1,294	1,196	2,042	1,284	2,202
7月	1,335	1,270	2,017	1,875	1,622
8月	717	1,006	1,302	1,094	1,429
9月	729	999	1,912	1,520	1,642
10月	844	831	1,027	1,042	1,105
11月	879	1,285	1,095	1,169	1,180
12月	632	501	627	622	866
1月	556	591	804	900	970
2月	763	585	1,274	1,103	1,324
3月	551	861	1,233	1,928	775
合　計	10,124	11,269	16,327	15,784	16,656

※2017 年度から会議・講演・協議会等の来館者を含みます。

２５　訓練指導等の実施状況

防災センターでは、要望に応じて地域に出向き防火指導や防災指導を行っています。

（2019 年度）

内容 ＼ 対象		自主防災組織等	宿泊施設事業所等	小・中・高各種学校等	幼稚園保育園	その他の団体	合　計
防火指導	回	106	112	18	77		313
	受講者	7,768	4,455	8,965	8,183		29,371
防災指導	回	32	14	6	1		53
	受講者	6,185	2,430	2,630	230		11,475
合　計	回	138	126	24	78	0	366
	受講者	13,953	6,885	11,595	8,413	0	40,846

２６　市民救命士講習及び救急指導実施状況

心肺蘇生法等の応急手当やＡＥＤ（自動体外式除細動器）の使用方法を習得する市民救命士講習及び、総務省消防庁が示す「救急受診ガイド」に沿った救急要請の判断と応急手当の体験をする救急指導を開催しています。

（2019 年度）

内容＼対象		自主防災組織等	宿泊施設事業所等	小・中・高各種学校等	幼稚園保育園	その他の団体	合計
市民救命士講習	回	22	90	64	12	17	205
	受講者	336	1,625	1,911	227	348	4,447
救急指導	回	28	14	2	1		45
	受講者	2,181	431	170	130		2,912
合計	回	50	104	66	13	17	250
	受講者	2,517	2,056	2,081	357	348	7,359

市民救命士講習実施状況

（2019 年度）

区分＼月	救命講習Ⅰ		救命講習Ⅱ		救命講習Ⅲ		上級救命講習		ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ講習		KIDS救命士講習		救命入門コース		合計	
	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者
4月	9	165			1	22							1	20	11	207
5月	16	382											17	567	33	949
6月	19	378					1	23					26	714	46	1,115
7月	18	366									1	69	10	280	29	715
8月	4	67					1	23	1	22			1	25	7	137
9月	9	200											6	113	15	313
10月	10	167					1	21					13	142	24	330
11月	7	94											4	12	11	106
12月	5	85	2	109			1	13					3	10	11	217
1月	3	30	1	44											4	74
2月	12	241					2	43							14	284
3月															0	0
合　計	112	2,175	3	153	1	22	6	123	1	22	1	69	81	1,883	205	4,447

市民救命士講習の区分

救命講習Ⅰ：主に成人を対象とした心肺蘇生法の講習（3 時間）

救命講習Ⅱ：医療従事者に対する講習（4 時間）

救命講習Ⅲ：主に小児、乳児、新生児の心肺蘇生法を対象とした講習（3 時間）

上級救命講習：成人、小児、乳児、新生児を対象とした心肺蘇生法、傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法等の講習（8 時間）

ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ講習：事業所又は防災組織等において従業員又は、防災組織等の構成員に対して行う市民救命士講習の指導に従事する者を養成する講習（8 時間×3 日間）

KIDS 救命士講習：小学 4 年生以上 6 年生以下の者を対象者とした講習（1 時間 30 分）

救命入門コース：主に成人を対象とした心肺蘇生法の入門講習（90 分・45 分）

災害統計

1　消防通信
2　市内地区別災害出動件数
3　火災出動
4　救急出動
5　救助出動
6　その他の災害出動
7　風水害出動

1　消防通信

(1)119 番通報受付状況

区分	種別		2019年中（A）	2018年中（B）	対前年比 増減数(C) (A)−(B)	対前年比 増減率 (C)/(B)×100
災害関係通報	火災		158	138	20	14.5
	救助		226	211	15	7.1
	その他の災害		181	321	▲ 140	▲ 43.6
	風水害		0	174	▲ 174	▲ 100.0
	救急救助		0	0	0	−
	救急		14,699	14,251	448	3.1
	他市へ転送	加古川市	194	147	47	32.0
		神戸市	314	342	▲ 28	▲ 8.2
		その他	33	38	▲ 5	▲ 13.2
	小計		15,805	15,622	183	1.2
緊急性の無い通報	いたずら		35	31	4	12.9
	問合せ		2,034	2,027	7	0.3
	間違い		680	653	27	4.1
	その他		2,701	1,932	769	39.8
	小計		5,450	4,643	807	17.4
通報訓練			799	841	▲ 42	▲ 5.0
合計			22,054	21,106	948	4.5

※「他市へ転送」とは、市外で発生した災害関係通報を受付けた場合に、該当する管轄消防本部へ切断せずに転送することです。

(2) 医療案内状況

(2019 年中)

「時間帯別医療案内件数」

時間	案内件数	問合せ件数
0時	319	209
1時	190	128
2時	159	102
3時	154	105
4時	107	80
5時	107	74
6時	184	130
7時	252	182
8時	347	229
9時	867	536
10時	517	343
11時	456	304
12時	653	469
13時	717	508
14時	688	441
15時	682	470
16時	891	573
17時	1,011	667
18時	1,099	699
19時	1,168	776
20時	1,040	686
21時	906	587
22時	686	457
23時	464	294
合計	13,664	9,049

「診療科目別医療案内件数」

科目	案内件数
外　　科	2,645
内　　科	2,733
小　児　科	1,706
整　形　外　科	3,469
眼　　科	372
耳　鼻　科	559
脳　外　科	927
そ　の　他	1,253
合　　計	13,664

・緊急性が無い病気やケガ等で医療機関をお探しの場合は、明石市消防局の代表電話（０７８－９２１－０１１９）へ問合せ下さい。

２ 市内地区別災害出動件数

（2019年中）

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	その他の災害	風水害
松が丘1丁目	1,869		114	8	12	
松が丘2丁目	1,354	1	108	6	4	
松が丘3丁目	1,047		60	2	6	
松が丘4丁目	1,250		188	2	5	
松が丘5丁目	982		49	2	8	
松が丘北町	851		38	2	6	
大蔵谷奥	655		28	2	1	
東山町	783		26		3	
朝霧北町	1,236		35		1	
朝霧台	1,243		126		5	
朝霧山手町	737		35	1	3	
朝霧南町1丁目	240		58		2	
朝霧南町2丁目	1,227		32		1	
朝霧南町3丁目	765		44		7	
朝霧南町4丁目	1,097		44		5	
朝霧東町1丁目	685		23		2	
朝霧東町2丁目	1,318		50		6	
朝霧東町3丁目	604		11		1	
朝霧町1丁目	794		28	1	5	
朝霧町2丁目	587		29	1		
朝霧町3丁目	493		38		2	
北朝霧丘1丁目	894		21	1	4	
北朝霧丘2丁目	524		24	1	4	
東朝霧丘	1,921		75	1	6	
中朝霧丘	878		41	1	2	
西朝霧丘	568		25	1	4	
荷山町	905		49	2	8	
東野町	4,276	1	122		9	
太寺大野町	813		16		4	
太寺天王町	1,128		24		1	
太寺1丁目	1,096		30		4	
太寺2丁目	819		26	1	1	
太寺3丁目	586		26			
太寺4丁目	859	1	33		1	
東人丸町	1,188		42	2	6	
人丸町	522		30	3	8	
山下町	890		108	1	6	
上ノ丸1丁目	915		39	4	2	
上ノ丸2丁目	693		31	2		
上ノ丸3丁目	790		41	1	2	
明石公園	－		52	1	10	
鷹匠町	1,306		132		4	

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	その他の災害	風水害
茶園場町	923		56	1	3	
大蔵八幡町	886		86	4	16	
大蔵町	481		26	1	3	
大蔵中町	555		27		5	
大蔵本町	457	1	70	3	4	
大蔵天神町	456	1	30	2		
天文町1丁目	209		76		2	
天文町2丁目	321		25		4	
相生町1丁目	535		28	1	10	
相生町2丁目	1,021		61	1	5	
中崎1丁目	371	1	50	4	7	
中崎2丁目	1,384		50	1	8	
鍛治屋町	120		36		4	
桜町	973		74	2	5	
東仲ノ町	1,164	1	152	1	10	
大明石町1丁目	1,555	1	446	4	16	
大明石町2丁目	1,019		78	1	7	
本町1丁目	840		99		8	
本町2丁目	850	1	82	2	8	
材木町	701	1	40	1	2	
樽屋町	1,261		76	2	3	
日富美町	515		27		1	
大観町	741	1	45	3	5	
港町	748		48		6	
岬町	755		43	4	4	
大蔵海岸通1丁目	－	1	66	3	5	
大蔵海岸通2丁目	－		12	1	2	
西新町1丁目	683		56	1	5	
西新町2丁目	1,445		71	2	3	
西新町3丁目	805		40		2	
北王子町	1,074	1	85		10	
王子1丁目	485		20		2	
王子2丁目	750		73	1	2	
南王子町	601		49	4	3	
大道町1丁目	618		39	1		
大道町2丁目	494		28	2	1	
硯町1丁目	464	1	30	2	9	
硯町2丁目	1,332		116	1	6	
硯町3丁目	1,600	1	74	6	6	
田町1丁目	756		36	1	3	
田町2丁目	709		89	2	2	
新明町	527		36	1	4	
船上町	967		34	1	4	
和坂稲荷町	164		22		1	

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	その他の災害	風水害
宮の上	1,354		57	3	5	
立石1丁目	318		15		3	
立石2丁目	791		22			
貴崎1丁目	447		15		1	
貴崎2丁目	600		35		1	
貴崎3丁目	1,612		54		2	
貴崎4丁目	559	1	23	2	1	
貴崎5丁目	975		59	2	2	
南貴崎町	357		28		1	
林崎町1丁目	144		30	1	2	
林崎町2丁目	606		53	1	3	
林崎町3丁目	1,028		50	4	2	
林1丁目	525		27		2	
林2丁目	784		42	2		
林3丁目	774		61	1	2	
松江	1,822		96	2	5	
和坂1丁目	1,246		49	2	6	
和坂2丁目	621		36		5	
和坂3丁目	743		21		1	
西明石町1丁目	380		10			
西明石町2丁目	502		13	1	1	
西明石町3丁目	471		18		1	
西明石町4丁目	364		17		1	
西明石町5丁目	603	1	34	1	2	
川崎町	1,385		45	1	24	
西明石南町1丁目	353		32		3	
西明石南町2丁目	939	1	88	3	4	
西明石南町3丁目	1,602	1	60		1	
和坂	791		50	2	2	
花園町	135		16		2	
松の内1丁目	1,354		74	4	9	
松の内2丁目	1,750		98		7	
野々上1丁目	962		40	2	8	
野々上2丁目	713		41	2	4	
野々上3丁目	1,357		71	7	3	
小久保1丁目	1,336		61	1	5	
小久保2丁目	1,093		255	2	9	
小久保3丁目	1,332		31	1	2	
小久保4丁目	784		22		3	
小久保5丁目	1,138		31	1		
西明石北町1丁目	1,193		41	2	1	
西明石北町2丁目	641		29		3	
西明石北町3丁目	448		46		4	
小久保6丁目	869		27		1	

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	その他の災害	風水害
鳥羽	3,571		123	3	7	
西明石東町	795		27			
旭が丘	956	1	51	2	1	
明南町1丁目	547		44	1	3	
明南町2丁目	1,859		70	3	2	
明南町3丁目	12		3		2	
沢野1丁目	472		28		4	
沢野2丁目	686		35	1	1	
小久保	885		15	1	4	
西明石西町1丁目	740		38	1	7	
西明石西町2丁目	948		30		1	
別所町	1,263		76	5	9	
東藤江1丁目	1,080		63	3	7	
東藤江2丁目	716		38	3	1	
藤が丘1丁目	1,066		62		5	
藤が丘2丁目	910		39		3	
藤江	11,494	4	483	9	39	
本庁地区計	139,504	24	8,206	198	627	
松陰新田	257	1	16	1	2	
森田	2,338		113	3	16	
松陰	5,037	3	174	4	15	
松陰山手	620		19			
大久保町	6,628		248	4	13	
駅前1丁目	921		80	1	5	
駅前2丁目	938		36		5	
大窪	16,105	8	943	16	70	
山手台1丁目	656		31		2	
山手台2丁目	798		30	1	4	
山手台3丁目	651		38	1		
山手台4丁目	706		6		2	
高丘1丁目	1,219	1	44	2	2	
高丘2丁目	878		29		3	
高丘3丁目	2,396		90	4	7	
高丘4丁目	382		4			
高丘5丁目	1,875		69		8	
高丘6丁目	560		20		1	
高丘7丁目	2,051		92	3	11	
西脇	3,075		134	1	10	
緑が丘	971		14		2	
茜1丁目	511		17		1	
茜2丁目	770		19			
茜3丁目	472	1	42	1	2	
谷八木	6,345	3	169	7	16	
八木	2,709	4	461	1	17	

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	その他の災害	風水害
福田	405		12		1	
福田1丁目	356		10	1		
福田2丁目	345		12			
福田3丁目	953		13		1	
江井島	6,101	1	400	12	30	
西島	9,727	6	388	7	30	
わかば	1,487		41	5	6	
ゆりのき通1丁目	3,654		116	1	4	
ゆりのき通2丁目	1,348		66	1	7	
ゆりのき通3丁目	－	1	30	1	3	
大久保地区計	84,245	29	4,026	78	296	
金ヶ崎	4,120	1	207	5	19	
長坂寺	4,157	3	233	13	17	
錦が丘1丁目	1,304		69		7	
錦が丘2丁目	578		30		5	
錦が丘3丁目	1,014		61	1	3	
錦が丘4丁目	349		75	1	3	
鴨池	1,039		33		5	
清水	16,775	2	959	25	73	
中尾	2,971	2	157	10	10	
住吉1丁目	936		54	1	3	
住吉2丁目	1,790	1	66	2	9	
住吉3丁目	1,468		45	2	2	
住吉4丁目	1,178		32	1	2	
西岡	11,865	2	574	9	37	
魚住地区計	49,544	11	2,595	70	195	
福里	4,256	1	125	2	11	
東二見	12,284	1	672	17	44	
西二見	12,428	6	556	20	47	
西二見駅前1丁目	10		16		1	
西二見駅前2丁目	430		17	2		
西二見駅前3丁目	589	1	16	1		
西二見駅前4丁目	297		11	1	4	
南二見	－		43	1	4	
二見地区計	30,294	9	1,456	44	111	
市外地区へ	—		16	1	16	
総合計	303,587	73	16,299	391	1,245	

3　火災出動

(1)火災の状況

区　　分	単位	2019年中（A）	2018年中（B）	対前年比	
				増減数(C)（A)－(B)	増減率(%)（C)/(B)X100
出火件数	件	73	74	▲ 1	▲ 1.4
建物火災		38	37	1	2.7
林野火災		0	0	0	－
車両火災		7	6	1	16.7
船舶火災		0	0	0	－
航空機火災		0	0	0	－
その他の火災		28	31	▲ 3	▲ 9.7
焼損棟数	棟	51	37	14	37.8
全焼		4	4	0	0.0
半焼		3	1	2	200.0
部分焼		8	3	5	166.7
ぼや		36	29	7	24.1
建物焼損床面積	㎡	622	831	▲ 209	▲ 25.1
建物焼損表面積	㎡	136	24	112	466.4
林野焼損面積	a	0	0	0	－
死者数	人	0	3	▲ 3	▲ 100.0
負傷者数	人	8	15	▲ 7	▲ 46.7
り災世帯数	世帯	30	34	▲ 4	▲ 11.8
全損		4	5	▲ 1	▲ 20.0
半損		0	1	▲ 1	▲ 100.0
小損		26	28	▲ 2	▲ 7.1
り災人員数	人	70	72	▲ 2	▲ 2.8
損害額	千円	78,954	89,868	▲ 10,914	▲ 12.1
建物火災		71,555	88,749	▲ 17,194	▲ 19.4
林野火災		0	0	0	－
車両火災		7,371	1,090	6,281	576.2
船舶火災		0	0	0	－
航空機火災		0	0	0	－
その他の火災		28	29	▲ 1	▲ 3.4
出火率	件/万人	2.4	2.5	－	－

(2)出火時間帯別火災の状況

(2019 年中)

区分 / 時間	出火件数						焼損棟数					死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
合　計	73	38	0	7	0	28	51	4	3	8	36	0	8
0～ 1時	3	1				2	1				1		
1～ 2時	3	2		1			4		1		3		
2～ 3時	5	4				1	4	1			3		
3～ 4時	3	2		1			5				5		2
4～ 5時													
5～ 6時	1	1					1				1		
6～ 7時	1	1											
7～ 8時	2	2					2				2		
8～ 9時	2	1				1	1		1				
9～ 10時	3	1		1		1	1				1		
10～ 11時	4					4							
11～ 12時	3	1		1		1	1				1		
12～ 13時	5	3				2	3				3		
13～ 14時	9	4		1		4	4				4		
14～ 15時	3	2				1	5	1		1	3		1
15～ 16時	5	1				4	1				1		
16～ 17時	3	2		1			2				2		
17～ 18時	2	1				1	1			1			
18～ 19時	2	1				1	1			1			1
19～ 20時	2	1				1	1				1		1
20～ 21時	4	2				2	2				2		1
21～ 22時	2	2					2				2		
22～ 23時	2	1				1	1			1			
23～ 0時	2			1		1							
不　明	2	2					8	2	1	4	1		2

(3)死傷者の状況

年齢区分	死者				負傷者			
	2019年中		2018年中		2019年中		2018年中	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
５歳以下							3	20.0
６歳～６４歳以下					5	62.5	6	40.0
６５歳以上			3	100.0	3	37.5	6	40.0
年齢不明								
合計	0	0	3	100	8	100	15	100

(4)初期消火の状況

(2019 年中)

	建物		車両		その他	
	成功	失敗	成功	失敗	成功	失敗
水バケツ	1				1	
泡消火器						
二酸化炭素消火器						
粉末消火器	5	2	1	1	4	1
屋内消火栓設備	1					
ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ設備						
水噴霧消火設備						
泡消火設備						
二酸化炭素消火設備						
粉末消火設備	1					
屋外消火栓設備	1					
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	10	3			2	
寝具、衣類等をかけた	1					
もみ消した					2	
その他	1	2	1			2
合計	21	7	2	1	9	3

(5)年別火災発生状況

区分 / 年	火災件数	火災種別					焼損面積		焼損棟数	り災世帯	り災人員	死傷者		損害額(千円)
		建物	林野	車両	船舶	その他	建物(㎡)	林野(a)				死者	負傷者	
2010 年	85	51	0	7	1	26	1,572	0	66	54	123	4	18	79,296
2011 年	82	45	0	3	2	32	1,195	0	60	41	91	2	17	111,061
2012 年	85	48	0	11	0	26	939	0	59	38	94	0	13	49,413
2013 年	78	34	0	11	1	32	515	0	44	15	40	2	8	26,467
2014 年	77	44	0	6	0	27	485	0	57	43	105	3	18	48,919
2015 年	51	37	0	1	0	13	442	0	71	32	83	2	11	33,991
2016 年	70	45	0	2	0	23	572	0	57	36	86	4	10	66,387
2017 年	66	42	0	7	0	17	3,671	0	91	54	112	3	7	250,732
2018 年	74	37	0	6	0	31	831	0	37	34	72	3	15	89,868
2019 年	73	38	0	7	0	28	622	0	51	30	70	0	8	78,954
10年平均	74	42	0	6	0	26	1,084	0	59	38	88	2	13	83,509

(6)月別火災件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2010 年	11	10	9	7	5	6	1	10	6	3	9	8	85
2011 年	13	6	5	6	9	4	5	10	3	5	8	8	82
2012 年	11	10	9	7	5	6	1	10	6	3	9	8	85
2013 年	6	4	6	6	8	6	5	11	10	4	6	6	78
2014 年	8	5	12	5	7	7	7	2	2	7	7	8	77
2015 年	7	5	3	2	5	3	6	3	3	5	6	3	51
2016 年	8	4	8	6	3	0	6	5	7	5	12	6	70
2017 年	4	8	6	4	3	5	7	7	5	5	9	3	66
2018 年	4	5	8	5	7	3	5	9	8	5	7	8	74
2019 年	9	2	8	5	11	8	5	6	4	4	5	6	73

(7)出火原因別火災件数

出火原因	2010年中	2011年中	2012年中	2013年中	2014年中	2015年中	2016年中	2017年中	2018年中	2019年中
たばこ	10	3	7	3	5	4	7	4	3	7
こんろ	7	13	8	7	14	9	11	7	8	5
かまど										
風呂かまど			1							
炉							1			
焼却炉			1							
ストーブ	4	1	6		2	3	1	4	1	1
こたつ										
ボイラー										1
煙突・煙道										
排気管			2	2	1	1		2		2
電気機器	1	2	3	2	1	1	4	4	1	5
電機装置	1	1	2		1	1	1	1	4	1
電灯・電話等の配線	4			1	1		2			
内燃機関				1						
配線器具		5	1	6		3	3	7	3	4
火あそび	6	7	7	5	6	3	2	2	1	1
マッチ・ライター	1	1	3			3	1		3	1
たき火	3	2		1	1					
溶接機・切断機	3	2		1	2	2	3		1	
灯火	1			1	2	1	1			
衝突の火花			1		1			1	1	
取灰										2
火入れ	2	5	2	4		2	2	4	2	3
放火	3	11	11	10	9	5	13	17	17	24
放火の疑い	9	10	7	16	8	1	4	3		1
その他	14	10	16	10	14	7	11	4	11	13
不明・調査中	16	9	7	8	9	5	3	6	18	2
合計	85	82	85	78	77	51	70	66	74	73

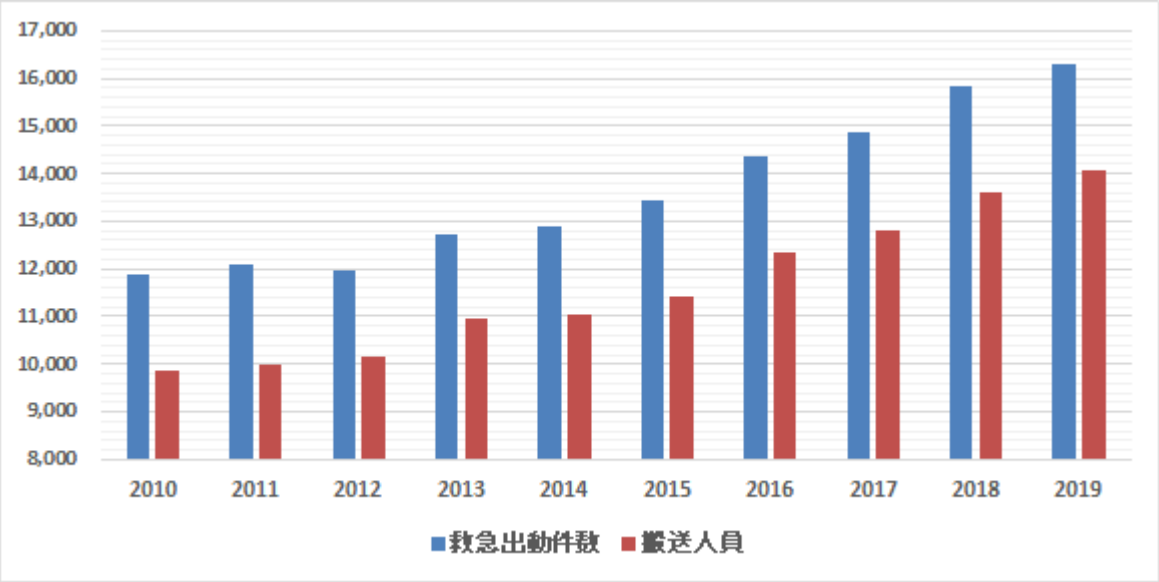
4 救急出動

(1)事故種別出動件数及び搬送人員

事故種別	2019年中		2018年中		対前年比	
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数 (搬送人員)	増減率 (%)
急病	10,231 (8,993)	62.77 (63.87)	9,995 (8,751)	63.18 (64.37)	236 (242)	2.4 (2.8)
交通事故	1,089 (988)	6.68 (7.02)	1,055 (953)	6.67 (7.01)	34 (35)	3.2 (3.7)
一般負傷	2,631 (2,282)	16.14 (16.21)	2,451 (2,168)	15.49 (15.95)	180 (114)	7.3 (5.3)
加害	51 (38)	0.31 (0.27)	67 (52)	0.42 (0.38)	▲ 16 (▲ 14)	▲ 23.9 (▲ 26.9)
自損行為	124 (83)	0.76 (0.59)	109 (68)	0.69 (0.50)	15 (15)	13.8 (22.1)
労働災害	88 (87)	0.54 (0.62)	88 (86)	0.56 (0.63)	0 (1)	0.0 (1.2)
運動競技	57 (56)	0.35 (0.40)	72 (69)	0.46 (0.51)	▲ 15 (▲ 13)	▲ 20.8 (▲ 18.8)
火災	42 (6)	0.26 (0.04)	39 (13)	0.25 (0.10)	3 (▲ 7)	7.7 (▲ 53.8)
水難	18 (10)	0.11 (0.07)	16 (7)	0.10 (0.05)	2 (3)	12.5 (42.9)
自然災害	0 (0)	0.00 (0.00)	3 (2)	0.02 (0.01)	▲ 3 (▲ 2)	▲ 100.0 ▲ 100.0
転院搬送	1,530 (1,523)	9.39 (10.82)	1,414 (1,413)	8.94 (10.39)	116 (110)	8.2 (7.8)
医師搬送	40 –	0.25 –	65	0.48 –	▲ 25 –	▲ 38.5 –
その他	398 (14)	2.44 (0.10)	446 (12)	2.82 (0.09)	▲ 48 (2)	▲ 10.8 (16.7)
合計	16,299 (14,080)	100 (100)	15,820 (13,594)	100 (100)	479 (486)	3.0 (3.6)

※医師搬送は搬送人員を計上しません。

(2)救急出動の推移



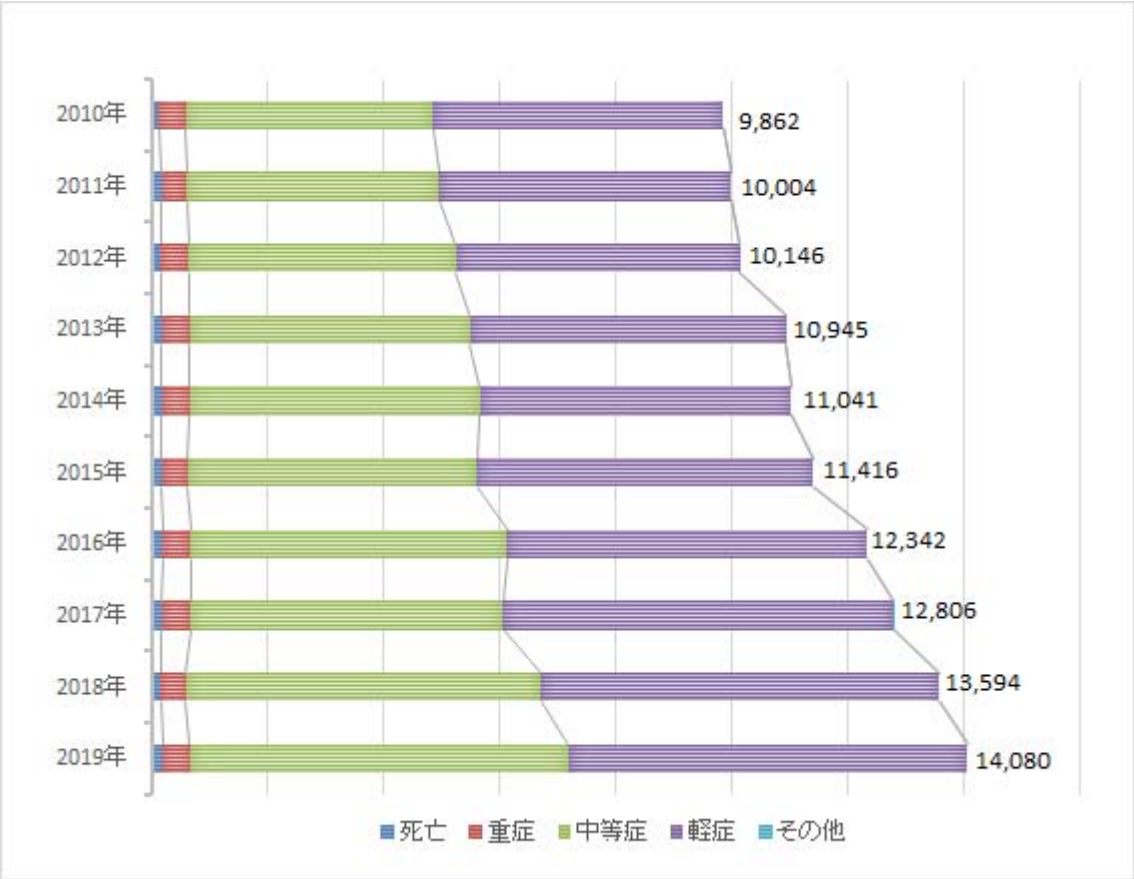
区分	救急出動件数 （搬送人員）	対前年比	
		増減数	増減率(%)
2010年中	11,885 (9,862)	861 (496)	7.8 (5.3)
2011年中	12,080 (10,004)	195 (142)	1.6 (1.4)
2012年中	11,966 (10,146)	▲ 114 (142)	▲ 0.9 (1.4)
2013年中	12,724 (10,945)	758 (799)	6.3 (7.9)
2014年中	12,883 (11,041)	159 (96)	1.2 (0.9)
2015年中	13,421 (11,416)	538 (375)	4.2 (3.4)
2016年中	14,369 (12,342)	948 (926)	7.1 (8.1)
2017年中	14,862 (12,806)	493 (464)	3.4 (3.8)
2018年中	15,820 (13,594)	958 (788)	6.4 (6.2)
2019年中	16,299 (14,080)	479 (486)	3.0 (3.6)

(3)傷病程度別事故種別搬送人員　　(2019 年中)

事故種別 傷病程度	急　病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合　計
死　亡	162	2	15	16	195
(構成比:%)	(1.8)	(0.2)	(0.7)	(0.9)	(1.4)
重　症	227	32	86	128	473
(構成比:%)	(2.5)	(3.2)	(3.8)	(7.0)	(3.4)
中等症	4,135	170	800	1,412	6,517
(構成比:%)	(46.0)	(17.2)	(35.1)	(77.7)	(46.3)
軽　症	4,469	784	1,381	261	6,895
(構成比:%)	(49.7)	(79.4)	(60.5)	(14.4)	(49.0)
その他	0	0	0	0	0
(構成比:%)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
合　計	8,993	988	2,282	1,817	14,080
(構成比:%)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

傷病程度は初診時における医師の診断に基づき次のように分類しています
死　　亡 ：初診時において死亡が確認されたものをいいます。
重　　症 ：傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするものをいいます。
中 等 症 ：傷病程度が重症または軽症以外のものをいいます。
軽　　症 ：傷病程度が入院加療を必要としないものをいいます。
そ の 他 ：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、もしくはその他の場所に搬送したものをいいます。

(4)年別傷病程度別搬送人員の推移



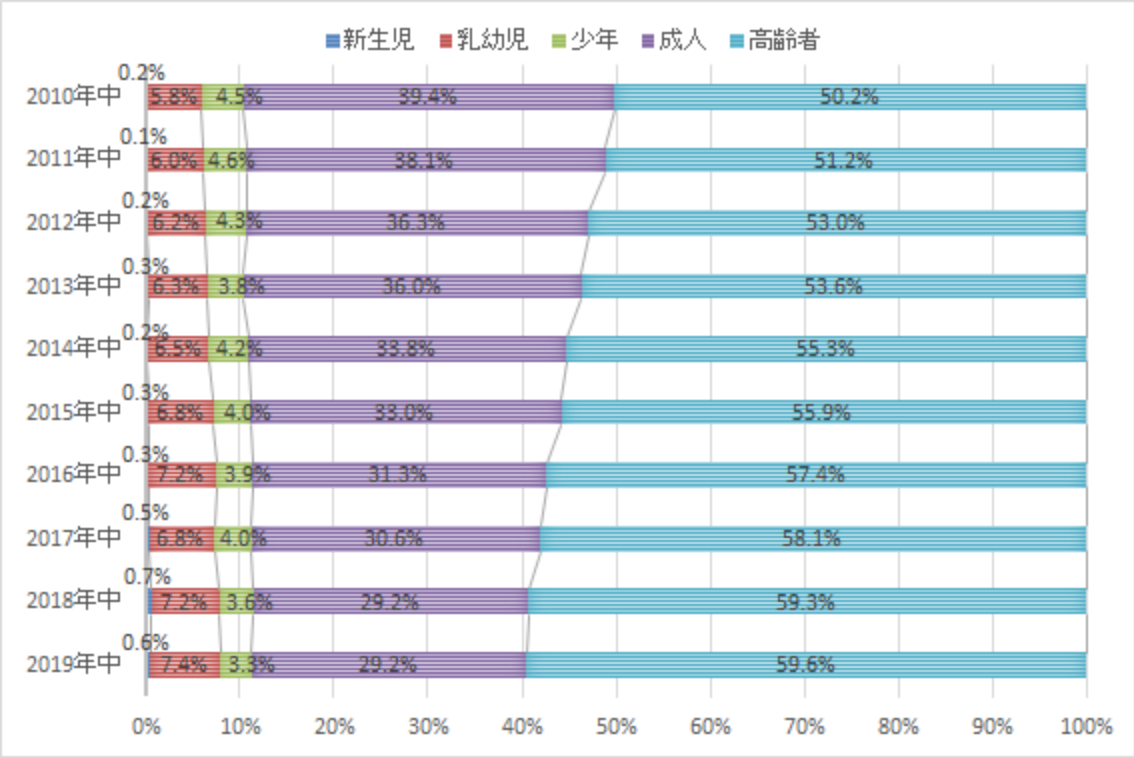
(5)年齢区分別事故種別搬送人員

(2019 年中)

事故種別 / 年齢区分	急　病	交通事故	一般負傷	その他（左記以外）	合　計
新　生　児	9	0	0	70	79
（構成比:%）	(0.1)	(0)	(0)	(3.9)	(0.6)
乳　幼　児	719	38	228	50	1,035
（構成比:%）	(8.0)	(3.8)	(10.0)	(2.8)	(7.4)
少　　年	274	70	57	68	469
（構成比:%）	(3.0)	(7.1)	(2.5)	(3.7)	(3.3)
成　　人	2,559	592	385	572	4,108
（構成比:%）	(28.5)	(59.9)	(16.9)	(31.5)	(29.2)
高　齢　者	5,432	288	1,612	1,057	8,389
（構成比:%）	(60.4)	(29.1)	(70.6)	(58.2)	(59.6)
合　　計	8,993	988	2,282	1,817	14,080
（構成比:%）	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

年齢区分は次のように分類しています。
新 生 児　：生後２８日未満の者
乳 幼 児　：生後２８日以上～満７歳未満の者
少　　年　：満７歳以上～満１８歳未満の者
成　　人　：満１８歳以上～満６５歳未満の者
高 齢 者　：満６５歳以上の者

(6) 年別年齢区分別搬送人員の割合



(7)月別曜日別事故種別出動件数及び搬送人員

(2019 年中)

区分 ＼ 事故種別		急病 出動件数 (搬送人員)	急病 構成比 (%)	交通事故 出動件数 (搬送人員)	交通事故 構成比 (%)	一般負傷 出動件数 (搬送人員)	一般負傷 構成比 (%)	その他(左記以外) 出動件数 (搬送人員)	その他(左記以外) 構成比 (%)	合計 出動件数 (搬送人員)	合計 構成比 (%)
月別	1月	1,046 (932)	10.2 10.4	79 (74)	7.3 7.5	247 (216)	9.4 9.5	239 (204)	10.2 11.2	1,611 (1,426)	9.9 10.1
	2月	753 (659)	7.4 7.3	84 (82)	7.7 8.3	190 (164)	7.2 7.2	168 (136)	7.2 7.5	1,195 (1,041)	7.3 7.4
	3月	840 (707)	8.2 7.9	106 (99)	9.7 10.0	207 (172)	7.9 7.5	168 (126)	7.2 6.9	1,321 (1,104)	8.1 7.8
	4月	747 (644)	7.3 7.2	101 (84)	9.3 8.5	205 (175)	7.8 7.7	198 (157)	8.4 8.6	1,251 (1,060)	7.7 7.5
	5月	826 (727)	8.1 8.1	84 (77)	7.7 7.8	196 (172)	7.4 7.5	194 (136)	8.3 7.5	1,300 (1,112)	8.0 7.9
	6月	806 (717)	7.9 8.0	87 (83)	8.0 8.4	185 (161)	7.0 7.1	183 (142)	7.8 7.8	1,261 (1,103)	7.7 7.8
	7月	925 (820)	9.0 9.1	103 (95)	9.5 9.6	190 (164)	7.2 7.2	209 (159)	8.9 8.8	1,427 (1,238)	8.8 8.8
	8月	1,020 (906)	10.0 10.1	73 (64)	6.7 6.5	218 (188)	8.3 8.2	201 (148)	8.6 8.1	1,512 (1,306)	9.3 9.3
	9月	816 (711)	8.0 7.9	85 (76)	7.8 7.7	215 (194)	8.2 8.5	228 (162)	9.7 8.9	1,344 (1,143)	8.2 8.1
	10月	767 (691)	7.5 7.7	90 (81)	8.3 8.2	232 (200)	8.8 8.8	192 (158)	8.2 8.7	1,281 (1,130)	7.9 8.0
	11月	760 (660)	7.4 7.3	111 (95)	10.2 9.6	261 (233)	9.9 10.2	173 (136)	7.4 7.5	1,305 (1,124)	8.0 8.0
	12月	925 (819)	9.0 9.1	86 (78)	7.9 7.9	285 (243)	10.8 10.6	195 (153)	8.3 8.4	1,491 (1,293)	9.1 9.2
計		10,231 (8,993)	100 100	1,089 (988)	100 100	2,631 (2,282)	100 100	2,348 (1,817)	100 100	16,299 (14,080)	100 100
曜日別	月	1,510 (1,332)	14.8 14.8	135 (128)	12.4 13.0	379 (333)	14.4 14.6	349 (274)	14.9 15.1	2,373 (2,067)	14.6 14.7
	火	1,475 (1,295)	14.4 14.4	179 (163)	16.4 16.5	363 (322)	13.8 14.1	330 (263)	14.1 14.5	2,347 (2,043)	14.4 14.5
	水	1,461 (1,293)	14.3 14.4	162 (145)	14.9 14.7	318 (275)	12.1 12.1	394 (325)	16.8 17.9	2,335 (2,038)	14.3 14.5
	木	1,410 (1,244)	13.8 13.8	138 (124)	12.7 12.6	346 (301)	13.2 13.2	340 (259)	14.5 14.3	2,234 (1,928)	13.7 13.7
	金	1,371 (1,208)	13.4 13.4	170 (148)	15.6 15.0	396 (349)	15.1 15.3	385 (316)	16.4 17.4	2,322 (2,021)	14.2 14.4
	土	1,470 (1,291)	14.4 14.4	181 (164)	16.6 16.6	433 (365)	16.5 16.0	299 (214)	12.7 11.8	2,383 (2,034)	14.6 14.4
	日	1,534 (1,330)	15.0 14.8	124 (116)	11.4 11.7	396 (337)	15.1 14.8	251 (166)	10.7 9.1	2,305 (1,949)	14.1 13.8

(8)現場到着所要時間別出動件数

(2019 年中)

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要 時間(分)
急　　病	68	1,171	7,180	1,783	29	7.8
交　通　事　故	14	152	724	192	7	7.8
一　般　負　傷	16	341	1,808	456	10	7.7
上　記　以　外	71	325	1,571	362	19	7.5
合　計（　件　）	169	1,989	11,283	2,793	65	

現場到着所要時間（119 番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間）

明石市平均　7.7 分　全国平均(2018 年中)　8.7 分

(9)病院収容所要時間別搬送人員

(2019 年中)

収容所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要 時間(分)
急　　病	0	224	2,550	5,755	453	11	36.4
交 通 事 故	0	15	242	659	71	1	38.5
一 般 負 傷	1	41	559	1,531	147	3	38.0
上 記 以 外	8	172	685	843	106	3	33.8
合　計(人)	9	452	4,036	8,788	777	18	

病院収容時間（119 番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間）

明石市平均　36.7 分　全国平均(2018 年中)　39.5 分

(10)救急隊員が行った応急処置件数

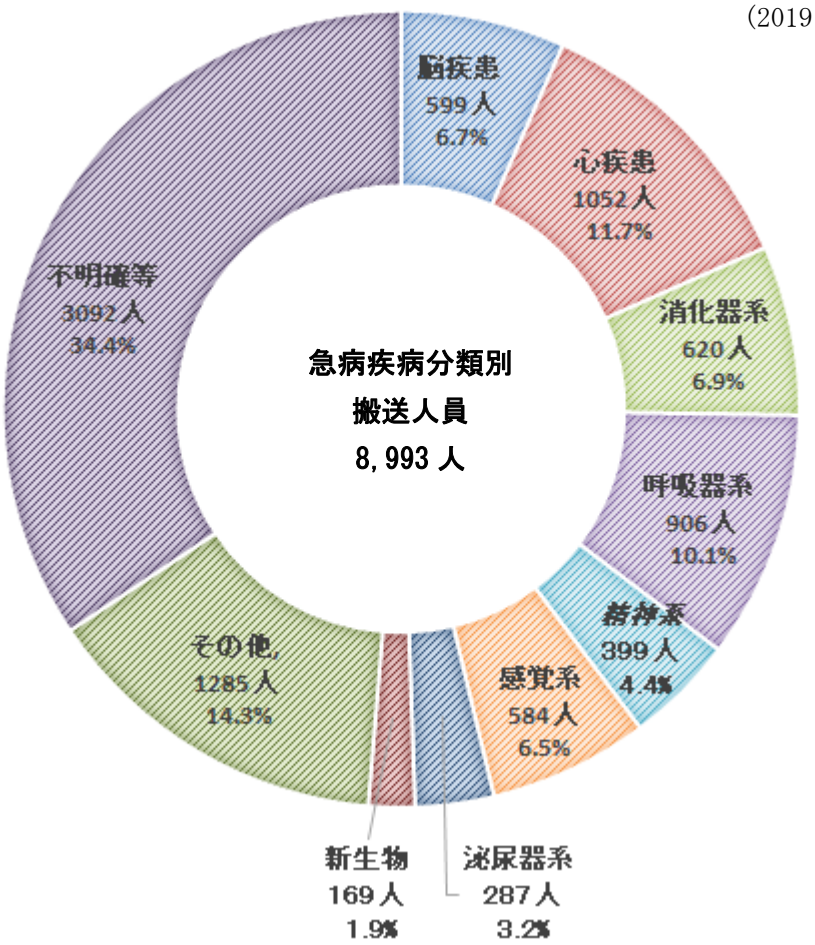
(2019 年中)

区分 ＼ 事故種別	急　病	交通事故	一般負傷	その他	合　計
止　血	26	35	170	28	259
固　定	12	251	117	37	417
人工呼吸	14			3	17
心マッサージ	3				3
心肺蘇生	208	2	20	21	251
酸素吸入	1,460	43	83	475	2,061
気道確保	279	5	24	30	338
※1	6		2		8
※2	4		4	2	10
※3	139		7	12	158
※4	6		6	3	15
保　温	4,839	294	976	1,105	7,214
被　覆	44	216	567	73	900
在宅療法継続 ※A					0
※B	1				1
※C	5		3		8
ショックパンツによる血圧の保持					0
除細動	14				14
薬剤投与	57		7	2	66
その他の応急処置	8,884	912	2,172	1,697	13,665
血圧測定	8,245	958	2,086	1,681	12,970
聴診器による心音・呼吸音等の聴取	3,832	406	558	491	5,287
血中酸素飽和度の測定	8,758	979	2,240	1,743	13,720
心電図	4,054	112	290	511	4,967
β刺激薬投与					0
静脈路確保 うちCPA前	48	3	5	3	59
うちCPA後	127	1	13	13	154
血糖測定	33				33
エピペン投与					0
ブドウ糖投与	12				12
合　計	40,955	4,217	9,331	7,913	62,416
応急処置対象人数	8,988	987	2,275	1,793	14,043

注１）気道確保欄
※1 は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数
※2 は、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数
※3 は、救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数
※4 は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数
注２）在宅療法継続欄
※A は、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法により点滴は施されている傷病者に応急処置を行った件数
※B は、気管切開孔または気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に応急処置を行った件数
※C は、※A･※B 以外の在宅療法継続中の傷病者に応急処置を行った件数

(11) 急病の疾病分類別搬送人員

(2019 年中)



ア　急病の疾病分類とは、急病に係るものについて初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO（世界保健機関）で定める国際疾病分類（ＩＣＤ）により分類したものである。

イ　「脳疾患」とは、「循環器系の疾患」のうち「脳梗塞」及び「その他の脳疾患」をいう。

ウ　「心疾患」とは、「循環器系の疾患」のうち「高血圧性疾患、狭心症、心筋梗塞」等をいう。

エ　「消化器系」とは、「消化器系の疾患」をいう。

オ　「呼吸器系」とは、「呼吸器系の疾患」をいう。

カ　「精神系」とは、「精神及び行動の障害」をいう。

キ　「感覚系」とは、「神経系の疾患」、「目及び付属器の疾患」、「耳及び乳様突起の疾患」をいう。

ク　「泌尿器系」とは、「腎尿路生殖器系の疾患」をいう。

ケ　「新生物」とは、「がん」等をいう。

コ　「その他」とは上記以外のものをいう。

サ　「不明確等」とは、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」をいう。

5　救助出動

(1)発生場所別救助件数

(2019 年中)

事故種別＼発生場所	出動件数 活動件数 救助人員	屋内 住居	屋内 その他の屋内	屋外 道路	屋外 水面 内水面	屋外 水面 外水面	屋外 その他の屋外	地下	その他
火災（建物）	3	2	1						
	3	2	1						
火災（建物以外）									
交通事故	32			19	1		12		
	12			9			3		
	12			9			3		
水難事故	14				1	13			
	10					10			
	10					10			
風水害等自然災害									
機械による事故	3	2	1						
	1	1							
	1	1							
建物等による事故	111	109	1				1		
	98	97					1		
	71	70					1		
ガス及び酸欠事故	1						1		
破裂事故									
その他の事故	227	157	31	4	1	1	30		3
	18	2	1		1		13		1
	19	2	1		1		14		1
合計	391	270	34	23	3	14	44	0	3
	142	102	2	9	1	10	17	0	1
	113	73	1	9	1	10	18	0	1

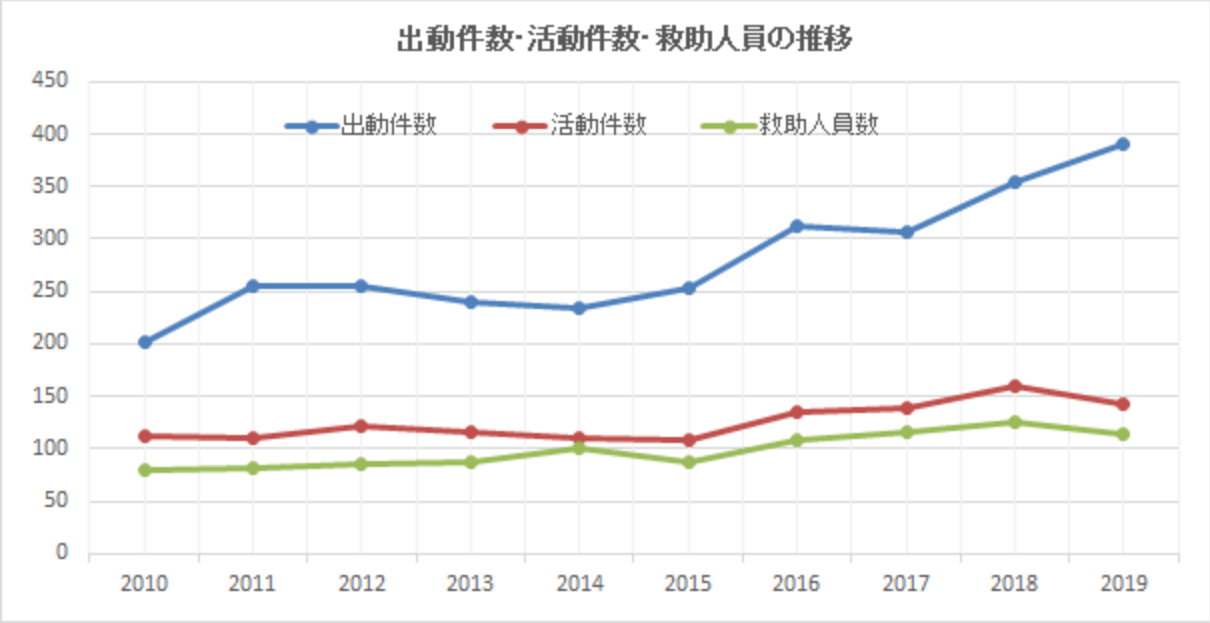
（２）月別曜日別事故種別出動件数

（2019 年中）

		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
月別	1月			4	2		1	14			19	40
	2月			3	1			8			14	26
	3月			5			1	9			17	32
	4月	1			1			5			9	16
	5月							9			21	30
	6月			2				7			13	22
	7月			2	2			5			25	34
	8月			3	1			15	1		18	38
	9月			5	3			12			29	49
	10月	1		2	2			6			18	29
	11月	1		2	1			9			22	35
	12月			4	1		1	12			22	40
計		3	0	32	14	0	3	111	1	0	227	391
曜日別	月			1	1			15			36	53
	火			5	1			21	1		28	56
	水			5	1			12			29	47
	木	1		8	3		1	16			35	64
	金	1		5	2			14			27	49
	土	1		6	4		2	13			38	64
	日			2	2			20			34	58

(3)救助件数の推移

(年中)



	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	増減数 対前年比	件数	増減数 対前年比	件数	増減数 対前年比
2010年中	202	47 (30.3)	112	30 (36.6)	79	19 (31.7)
2011年中	256	54 (26.7)	111	▲ 1 (0.9)	82	3 (3.8)
2012年中	256	0 (0.0)	121	10 (9.0)	84	2 (2.4)
2013年中	239	▲ 17 (6.6)	115	▲ 6 (5.0)	87	3 (3.6)
2014年中	235	▲ 4 (1.7)	110	▲ 5 (4.3)	100	13 (14.9)
2015年中	253	18 (7.7)	108	▲ 2 (1.8)	87	▲ 13 (13.0)
2016年中	312	59 (23.3)	135	27 (25.0)	108	21 (24.1)
2017年中	307	▲ 5 (1.6)	139	4 (3.0)	116	8 (7.4)
2018年中	355	48 (15.6)	159	20 (14.4)	125	9 (7.8)
2019年中	391	36 (10.1)	142	▲ 17 (10.7)	113	▲ 12 (9.6)

６ その他の災害出動

種別	2019年中		2018年中		対前年比	
	出動件数	構成比(%)	出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
ＰＡ救急	862	69.2	822	63.1	40	4.9
調査	132	10.6	217	16.7	▲ 85	▲ 39.2
漏洩事故	43	3.5	39	3.0	4	10.3
枯草等焼却	21	1.7	30	2.3	▲ 9	▲ 30.0
虚報誤報	36	2.9	27	2.1	9	33.3
火災に至らず	16	1.3	14	1.1	2	14.3
専用道救急	16	1.3	10	0.8	6	60.0
ヘリ支援	43	3.5	35	2.7	8	22.9
応援	5	0.4	5	0.4	0	0.0
残火処理	0	0.0	0	0.0	0	－
動物の救出	8	0.6	12	0.9	▲ 4	▲ 33.3
その他	63	5.1	91	7.0	▲ 28	▲ 30.8
合計	1,245	100	1,302	100	▲ 57	▲ 4

注）

- ＰＡ救急とは、消防車（Pumper）と救急車（Ambulance）が同時に出動することです。
  そのため、消防車にはＡＥＤ（自動体外式除細動器）や救命に必要な資機材を積載しています。心肺停止状態など高度な救命処置が必要な時や救急隊だけでは搬送が困難な時に出動し、救急活動の支援を行います。
- 調査とは、火災報知器等の誤作動による鳴動や原因不明の異臭等で状況の確認が必要な場合です。
- ヘリ支援とは、ドクターヘリや消防防災ヘリ等の離着陸時に地上からのヘリ誘導や、砂埃が飛散しないように地面に水を撒くなどヘリコプター要請時の活動支援を目的としています。
- 火災に至らずとは、何らかの燃えた痕跡がある場合又は瞬間的に出火したが被害が無く収まった場合です。
- 残火処理とは、鎮圧した火災の残り火を消す再燃防止活動です。
- その他とは、上記に該当が無く出動要請の通報により出動した場合です。

７ 風水害出動

風水害出動	2019年中	2018年中	対前年比	
			増減数	増減率(%)
出動件数	0	81	▲ 81	▲ 100

注）

- ２０１８年中は台風７号、１２号、２０号、２１号により出動したものです。

地域における
消防防災のリーダー

消防団

消防団とは、消防局や消防署と同様に消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。
消防団員は、他の職業等に就いている一般市民で構成しています。
地域に密着し住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

１　消防団組織機構

消防団本部
（消防団長１人）
（消防副団長４人）

女組（定員 15 人）		
第１分団（定員 98 人）	大蔵班	人丸班
	太寺上ノ丸班	明石班
	王子班	船上班
第２分団（定員 129 人）	林班	林崎班
	西明石班	西鳥羽班
	藤江班	藤が丘班
第３分団（定員 223 人）	松陰新田班	松陰班
	大窪班	中ノ番班
	山ノ下班	川西班
	西大窪班	西脇班
	駅前班	大久保町班
	森田班	
第４分団（定員 168 人）	谷八木班	八木班
	西八木班	東江井班
	西江井班	東島班
	西島班	福田班
第５分団（定員 172 人）	金ヶ崎班	柳井班
	長坂寺班	長池班
	浜西班	清水班
	清水新田班	上野班
第６分団（定員 114 人）	中尾班	浜谷班
	西岡班	大見班
	山川班	
第７分団（定員 71 人）	上西二見班	岡ノ上班
	福里班	
第８分団（定員 45 人）	東二見班	
	西二見班	

※定員とは、条例で定められた上限人数であり、実員ではありません。
※定員には分団長、副分団長、部長、班長、団員が含まれます。

２　消防団員階級別分団人員

（2020 年 4 月 1 日現在）

区分＼階級	総　数	団　長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部　長	班　長	団　員
定　　員	1,040	1	4	8	8	8	50	961
実　　員	990	1	4	8	8	8	50	911
団　本　部	5	1	4					
女　　組	11						1	10
第 1 分 団	95			1	1	1	6	86
第 2 分 団	125			1	1	1	6	116
第 3 分 団	223			1	1	1	11	209
第 4 分 団	167			1	1	1	8	156
第 5 分 団	169			1	1	1	8	158
第 6 分 団	82			1	1	1	5	74
第 7 分 団	67			1	1	1	3	61
第 8 分 団	46			1	1	1	2	41

※女組は、女性消防団員

３　消防団員階級別年齢構成

（2020 年 4 月 1 日現在）

年齢＼年齢	総　数	団　長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部　長	班　長	団　員
20 歳 未 満	15							15
20 ～ 24 歳	80							80
25 ～ 29 歳	106							106
30 ～ 34 歳	140						6	134
35 ～ 39 歳	191						7	184
40 ～ 44 歳	227						17	210
45 ～ 49 歳	197				2	2	11	182
50 ～ 54 歳	19			3	4	5	7	
55 ～ 59 歳	8			4	2	1	1	
60 歳 以 上	7	1	4	1			1	

消防団員平均年齢は３７．５歳です。

4　消防団員の表彰等受章状況

（2019 年度）

区分	階級	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
褒　　章									
消防庁長官	功　労　章								
	永年勤続功労章	2			2				
兵庫県知事	功　労　章								
	永年勤続功労章	6					1	5	
	家　族　の　賞	12							12
	親子二代の賞	2					1		1
	永年勤続５０年								
日本消防協会長	功　績　章	1			1				
	精　績　章	2					1	1	
	勤　続　章	4			1				3
兵庫県消防協会長	功　績　章	1				1			
	精　績　章	5						5	
	勤　続　章	7				1	1	1	4
	精　勤　章	9						9	
	家族の賞　30年	1			1				
	家族の賞　40年								
	家族の賞　50年								
市　　長	市政功労表彰	1				1			
	優良団員表彰	32						3	29
	家　族　の　賞	12							12
団　　長	優良団員表彰	33						1	32
消防長	優良団員表彰	33						2	31

５　消防団機械器具配備状況

（2020 年 4 月 1 日現在）

区 分団	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	総数
第　１　分　団	1	4		5
第　２　分　団		6		6
第　３　分　団		10	1	11
第　４　分　団		8		8
第　５　分　団		8		8
第　６　分　団		5		5
第　７　分　団		3		3
第　８　分　団		2		2
合　　計	1	46	1	48

付録

明石消防の沿革

当市は、古くから城下町として発展した関係上、明治維新前には各町に町火消が組織され、全町で 10 数台の龍吐水を設置し、郡代役所で統括していた。明治 27 年２月に消防組規則が制定され、東西２部の明石市消防組が設けられる。

その後、昭和５年に常備消防隊が設置され、その規模は消防ポンプ自動車１台、人員４名であったが、昭和９年には、消防ポンプ自動車２台、人員８名に増強される。

昭和１４年　４月　１日	消防組を改称し、明石市警防団として発足。（４分団、団員 550 名）
昭和１７年　２月１１日	林崎村合併により、明石市警防団は７分団、団員 850 名となる。
昭和１９年１２月２２日	明石警察署内に板宿消防署の分遣隊を置く。（消防ポンプ自動車４台、人員 22 名）
昭和２０年　２月　１日	消防力の整備充実を図るため神戸葺合消防署が移駐され、大明石町２丁目天理教内に官設消防署を開設し、東播消防大隊と改称、その規模は、消防ポンプ自動車 14 台、人員 232 名をもって、加古川、高砂、三木各町及び垂水分駐所を設け、東播地区の火災防ぎょ警戒にあたる。
昭和２１年　２月２０日	明石国民学校（現明石小学校）の一部を仮庁舎として、消防署を移転する。
昭和２１年　２月２０日	明石消防署と改称。
昭和２１年１１月２８日	山陽電鉄事務所（旧東仲ノ町山電下り駅）を仮庁舎として明石消防署を移転する。
昭和２２年　２月	明石消防署の管轄区域は、明石市及び加古川市、高砂各町となり、加古川町寺家町 64、高砂町消防会館にそれぞれ出張所を設置する。
昭和２２年　４月	加古川消防署発足に伴い、管轄の加古川、高砂両町は加古川消防署へ移管し、神戸市垂水区を加え、垂水出張所を開設する。
昭和２２年　８月３１日	内務省令により、従前の警防団は廃止、明石消防団として発足する。
昭和２３年　３月　７日	消防組織法の公布施行により、明石市消防本部及び消防署の設置条例並びに明石市消防本部、消防署の位置名称及び管轄区域に関する条例を公布施行し、明石市消防本部、明石市消

防署として発足する。
垂水出張所は神戸市へ移管となる。（１本部１署）

昭和２３年　６月１５日　明石市大明石町１丁目 1450 番地の７に新庁舎が竣工し、本部及び消防署を移転する。

昭和２４年　９月　１日　西部方面の火災防ぎょのため、明石市藤江 889 番地に消防分署を設置、明石市消防署西分署として業務を開始する。（１本部１署１分署）

昭和２６年　１月１０日　明石郡大久保村、同魚住村、加古郡二見町の三ケ町村との合併により消防団は４団になる。

昭和２６年　１月１０日　消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 70 名に改める。

昭和２８年１０月３１日　明石市消防団条例を改正。消防団を統合し、連合消防団制とする。
（４団、42 分団、1,916 人、ポンプ自動車３台、手引動力ポンプ 30 台）

昭和３１年１０月　１日　消防組織の強化充実を図るため、職員定数を８２名に改める。

昭和３２年　３月１１日　明石市二見町東二見 450 番地、明石警察署二見巡査部長派出所内に消防分署を設置、明石市消防署二見分署として業務を開始する。
（１本部１署２分署）

昭和３８年　８月　１日　消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 96 名に改める。

昭和３９年　２月２４日　明石市大久保町江井島 794 番地の８に消防分署を設置、明石市消防署江井島分署として業務を開始する。（１本部１署３分署）

昭和３９年１０月１４日　消防法の一部改正により救急業務実施政令都市となり救急自動車を配置、救急業務を開始する。

昭和４０年　４月　１日　連合消防団制を廃止し、１市１団制の組織改革を行う。（１団８分団、49 班、人員 1,200 名、ポンプ自動車６台、小型動力ポンプ 23 台、手引動力ポンプ 13 台）

昭和４３年　４月　１日　消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 103 名に改める。

昭和４３年　４月１２日　明石市二見町西二見 767 番地の３に二見分署庁舎が竣工し、二見分署を移転する。

昭和４４年　４月　１日　消防本部、消防署の組織機構を改正する。
消防本部（３課６係）
消防署　（２係３分署）
消防吏員　117 名

昭和４４年　４月１５日　明石市魚住町西岡 500 番地に消防分署を設置、明石市消防署魚住分署として業務を開始する。（１本部１署４分署）

昭和４５年	１月１３日	消防対象物の高層化に対処するため、屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を本署に配置する。
昭和４５年	４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 131 名に改める。
昭和４５年	７月２３日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和４６年	４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 148 名に改める。
昭和４６年	６月　１日	明石市朝霧町３丁目 10 番１号に消防分署を設置、明石市消防署朝霧分署として業務を開始する。（１本部１署５分署）
昭和４６年	６月１８日	重化学消防ポンプ自動車を消防署に配置する。
昭和４７年	４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 166 名に改める。
昭和４７年	７月１９日	明石市中崎１丁目６番 20 号に消防庁舎が竣工し、消防本部、消防署を移転する。
昭和４７年	１２月　１日	二見分署に救急自動車を配置する。（２隊制）
昭和４８年	４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 179 名に改める。
昭和４８年	１１月３０日	救急自動車を二見分署より魚住分署に配置換する。
昭和４９年	２月　８日	消防対象物の高層化に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車（38m級）を消防署に配置する。
昭和４９年	３月２５日	救助工作車を消防署に配置する。
昭和５０年	７月１０日	消防本部の組織機構を改正し、警防課に通信係を新設する。
昭和５１年	８月１８日	明石市藤江 890 番地の 3 に西分署庁舎が竣工し、西分署を移転する。
昭和５１年	９月　１日	西分署に救急自動車を配置する。（３隊制）
昭和５３年	４月　１日	消防署の組織機構を改正し、予防係を新設する。
昭和５５年	７月２５日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和５６年	３月３１日	魚住分署を増改築する。
昭和５７年	２月１６日	西分署の名称を西明石分署に改める。
昭和５７年	２月１７日	明石市大久保町西脇 364 番地の 12 に消防分署を設置、明石市消防署大久保分署として業務を開始する。（１本部１署６分署）
昭和５７年	１２月２１日	昭和 43 年建築の二見分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。
昭和６０年	２月１６日	屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を消防署に更新配置する。
昭和６０年	３月３０日	昭和 39 年建築の江井島分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。

昭和６１年　３月　１日	多種多様化する災害に対応し、円滑な指令伝達、情報収集を行うため、通信指令室の増改築を実施し、指令装置等の更新を行うとともに、地図検索装置を導入、各署所を結ぶファクシミリ装置の設置などのシステム化を図る。また、風水害による被害をいち早く予測し、その被害を軽減するために、気象観測装置及び河川、流域総合情報システムを導入する。
昭和６１年１２月　１日	電源照明付救助工作車を消防署に更新配置する。
昭和６２年　３月２４日	西明石分署を増改築する。（平屋建から２階建となる。）
昭和６２年　８月２８日	（財）日本消防協会より、電源照明付資器材等搬送車の寄贈を受ける。
昭和６２年　９月　３日	日本損害保険協会より、普通消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和６３年　３月　１日	ハニー化成㈱より、化学消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
平成　２年１１月２０日	救急出動の増加に伴い、救急自動車の規格の向上を図る。
平成　３年　２月２１日	西明石ロータリークラブより、聴覚言語障害者の非常時における 119 番通報に対処するため、専用ファクシミリ装置の寄贈を受ける。
平成　３年　４月　１日	消防組織の強化、充実を図るため職員定数を 200 名に改める。
平成　３年１１月　１日	救急業務の増加に伴い、大久保分署に救急隊を配置する。（４隊制）
平成　４年　２月１２日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
平成　４年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成　５年　３月１１日	応急処置の範囲の拡大に伴い、救急業務の高度化を図るため、準高規格救急自動車を消防署に配置する。
平成　５年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成　５年　４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 215 名に改める。
平成　５年　４月　１日	衛星通信を活用した「兵庫県衛星通信ネットワーク」の運用を開始する。
平成　５年１０月２７日	高規格救急自動車を消防署に配置する。
平成　６年　１月１０日	救急救命士業務の試験運用を開始する。
平成　６年　３月２５日	西明石分署に救急消毒室を設置する。
平成　６年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成　６年　４月　１日	救急救命士業務の本格運用を開始する。
平成　６年　４月　１日	消防本部、消防署の組織機構を改正し、消防本部警防課に救急救助係を新設、技術係を装備係に改める。消防署に管理係を新設する。

平成　６年１１月　１日	高規格救急自動車を西明石分署に配置する。
平成　７年　１月１７日	午前５時 46 分　兵庫県南部地震発生（M7.3） 死者　11 人、火災　６件
平成　７年　２月１０日	40m級はしご付消防自動車を消防署に更新配置する。
平成　７年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成　７年１２月　８日	明石市セントラルライオンズクラブより、消防の行う応急手当普及啓発活動推進のため、応急手当普及広報車の寄贈を受ける。
平成　７年１２月１５日	救助工作車を大久保分署に配置する。
平成　８年　２月２９日	指揮先行車を消防署に配置する。
平成　８年　３月　８日	魚住分署に救急消毒室を設置する。
平成　８年　３月２２日	小型動力ポンプ付水槽車を消防署に配置する。
平成　８年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成　８年１２月　１日	高規格救急自動車を魚住分署に配置する。
平成　９年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成　９年　４月　１日	高規格救急自動車を大久保分署に配置する。
平成　９年　４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を 225 名に改める。
平成１０年　１月１１日	自治体消防 50 周年記念・平成 10 年明石市消防出初式挙行
平成１０年　１月１１日	自治体消防 50 周年記念誌「明石市消防 50 年のあゆみ」発刊
平成１０年　３月３１日	朝霧分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成１０年度中	４名の救急救命士を養成する。
平成１０年　４月　１日	高規格救急自動車を朝霧分署に配置する。（５隊制）
平成１０年　４月　１日	自動車電話・携帯電話からの 119 番通報受信を開始する。
平成１０年１２月２０日	新消防庁舎基本計画書を策定する。
平成１１年　３月２５日	新消防庁舎用地の造成工事が完了する。
平成１１年　３月３１日	救助工作車Ⅲ型を消防署に更新配置する。
平成１１年度中	４名の救急救命士を養成する。
平成１１年　４月２０日	通信指令装置のオーバーホールを実施する。
平成１１年　７月　１日	コンピューター西暦 2000 年問題対策本部を設置する。
平成１２年　３月１７日	災害対応特殊救急車を消防署に更新配置する。
平成１２年度中	４名の救急救命士を養成する。
平成１２年　９月２８日	水槽付消防ポンプ自動車を消防署に更新配備する。
〃	応急救護所用エアーテント（ＴＡＴ－600 型）１張りを配備する。
〃	インパルス消火システム２基を配備する。
平成１２年１２月　７日	日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受

	ける。
平成１３年　３月２２日	緊急時における多目的活動の装備充実のため、川崎重工業(株)より寄贈を受けた消防用オートバイ２台を消防署に配備する。
平成１３年　３月３０日	災害対応特殊救急車を西明石分署に更新配置する。
平成１３年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成１３年　７月２１日	第32回明石市民夏まつり花火大会事故発生
平成１３年１０月１５日	屈折はしご付消防自動車（15m級）を廃車し、はしご付消防自動車（30m級）を消防署に配置する。
平成１４年　２月１２日	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を二見分署に更新配置する。
平成１４年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成１５年　２月２８日	明石市藤江924番地の８に、明石市防災センターを併設した、新消防庁舎が竣工する。
平成１５年　３月　１日	西明石分署（藤江890番地の３）を廃止し、業務を新消防庁舎へ仮移転する。
平成１５年　３月　７日	消防緊急情報システムの完成に伴い、消防本部の情報指令室が新消防庁舎にて業務を開始する。
平成１５年度中	４名の救急救命士を養成する。
平成１５年　４月１４日	新消防庁舎に、消防本部、消防署を移転し、業務を開始すると伴に、明石市防災センターを開館する。 旧消防本部、消防署庁舎（中崎１丁目６番20号）は、中崎分署として業務を継続する。
平成１６年度中	３名の救急救命士を養成する。
平成１６年　４月　１日	消防組織の強化充実を図るため、職員定数を233名に改める。
平成１６年１２月２１日	災害対応特殊救急車を魚住分署に更新配置する。
平成１７年　２月　８日	二見分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成１７年　３月１１日	災害対応特殊救急車を二見分署に配置する。（６隊制）
平成１７年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成１７年　８月２７日	災害対応特殊消防ポンプ自動車を中崎分署に更新配置する。
平成１８年　２月２６日	指揮先行車を消防署（本署）に更新配置する。
平成１８年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成１８年　７月　５日	無線指令車を警防指揮車として更新配備する。
平成１９年１２月１１日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を大久保分署に更新配置する。
平成１９年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２０年度中	２名の救急救命士を養成する。

平成２１年　３月　２日	災害対応特殊消防ポンプ自動車（ＣＡＦＳ対応）を朝霧分署及び江井島分署に更新配置する。
平成２１年　３月１９日	災害対応特殊救急車を消防署（本署）に更新配置する。
平成２１年　３月２３日	中崎分署を改修し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成２１年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２２年　２月　１日	水槽付消防ポンプ自動車を消防署（本署）に更新配置する。
平成２２年　２月１９日	災害対応特殊救急自動車を中崎分署に更新配置する。
平成２２年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２３年　１月	大久保分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。 Ⅱ型化学消防ポンプ自動車を消防署（本署）に更新配置する。
平成２３年　２月	災害支援車Ⅰ型を消防署（本署）に配置する。
平成２３年　３月	東日本大震災に緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣する。 江井島分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成２３年　３月	災害対応特殊救急車を配置する。（７隊制）
平成２３年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２４年　３月	多目的災害対応コンテナ車を消防署に配置する。
平成２４年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２４年１２月	小型水槽付消防ポンプ自動車（ＣＡＦＳ対応）を魚住分署に更新配置する。
平成２４年１２月	災害対応特殊救急自動車を魚住分署に更新配置する。
平成２５年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２５年　４月	消防署の特別救助隊を高度救助隊として発隊する。
平成２５年１１月	高規格救急自動車を大久保分署に更新配置する。
平成２５年１１月	災害対応特殊救急自動車を二見分署に更新配置する。
平成２６年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２６年　４月	高機能消防指令センターの運用を開始する。（指令システム更新）
平成２６年　４月	消防救急デジタル無線システムの運用を開始する。
平成２６年　９月	介護予防教育を試行的に実施する。
平成２６年１２月	はしご付消防自動車（40m級）を消防署に配置する。
平成２７年度中	１名の指導救命士を養成する。
平成２７年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２７年　４月	介護予防教育を全国に先駆けて実施する。
平成２７年１１月	高規格救急自動車を朝霧分署に更新配置する。
平成２８年度中	２名の救急救命士を養成する。

平成２８年　４月	熊本地震に緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣する。
平成２８年１１月	災害対応特殊救急自動車を消防署(本署)に更新配置する。
平成２８年１１月	水槽付消防ポンプ自動車（ＣＡＦＳ対応）を大久保分署に更新配置する。
平成２９年度中	１名の指導救命士を養成する。
平成２９年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成２９年１０月	災害対応特殊救急自動車を中崎分署に更新配置する。
平成２９年１１月	災害対応特殊消防ポンプ自動車（ＣＡＦＳ対応）を朝霧分署に更新配置する。
平成３０年度中	１名の指導救命士を養成する。
平成３０年度中	２名の救急救命士を養成する。
平成３０年　４月	明石市の中核市移行に伴い、組織名称を明石市消防局とする。
平成３０年　７月	平成３０年西日本豪雨災害により、広島県に緊急消防援助隊（兵庫県隊）を派遣する。
平成３０年１０月	高規格救急車を江井島分署に更新配置する。
平成３１年　３月	救助工作車Ⅲ型を消防署に更新配置する。
令和元年度中	１名の指導救命士を養成する。
令和元年度中	２名の救急救命士を養成する。
令和元年　　９月	高規格救急車を魚住分署に更新配置する。
令和２年　　３月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を二見分署に更新配置する。
令和２年　　４月	消防組織の強化充実を図るため、職員定数 238 名に改める。